

(様式第10)

厚生労働大臣 殿  
開設者名 国立大学法人 長崎大学長  
河野 茂

番 長大病総 1239 号  
令和 4 年 10 月 5 日

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒852-8521 長崎市文教町1-14
氏名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

長崎大学病院
--------

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
電話 (095)819-7200

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							
内分泌内科及び代謝内科については内分泌・代謝内科で対応している。 アレルギー疾患については皮膚科等で対応している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
乳腺外科及び内分泌外科については、乳腺・内分泌外科で対応している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科		6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	泌尿器科・腎移植外科	2	形成外科	3	内分泌・代謝内科	4	乳腺・内分泌外科	5	病理診断科
6	移植外科	7	脳神経内科	8	胃・食道外科	9	大腸・肛門外科	10	肝胆膵外科・肝移植外科
11	リハビリテーション科	12	臨床検査科	13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
39	2	6	0	827	874

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	595	10.8	605.8	看護補助者	64	診療エックス線技師	0	
歯科医師	141	11.2	152.2	理学療法士	27	臨床検査 臨床検査技師	83	
薬剤師	59	0.7	59.7	作業療法士	8		衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	9		その他	0
助産師	43	0	43	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0	
看護師	913	2.8	915.8	臨床工学士	29	医療社会事業従事者	9	
准看護師	0	0	0	栄養士	2	その他の技術員	40	
歯科衛生士	18	0	18	歯科技工士	5	事務職員	364	
管理栄養士	12	0.7	12.7	診療放射線技師	46	その他の職員	6	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	72	眼科専門医	16
外科専門医	52	耳鼻咽喉科専門医	10
精神科専門医	10	放射線科専門医	11
小児科専門医	23	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	28
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	29
産婦人科専門医	19	救急科専門医	16
		合計	313

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 中尾 一彦 ) 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

- ・安全管理部長(平成31年1月1日～平成31年3月31日)
- ・医療安全管理委員会(医療安全に関する委員会)委員長(平成31年4月1日～継続中)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	591.2 人	11 人	602.2 人
1日当たり平均外来患者数	1257.1 人	357 人	1614.1 人
1日当たり平均調剤数	2788		剤
必要医師数	136.755		人
必要歯科医師数	19.225		人
必要薬剤師数	34.850		人
必要(准)看護師数	354.903		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要	
集中治療室	405.55 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	20 床 有 有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	498.2 m <sup>2</sup> 台	病床数	50 床
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 [共用室の場合] 共用する室名	136.1 m <sup>2</sup>		
化学検査室	243.6 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動生化学分析装置, 全自動免疫分析装置, 全自動糖分析装置, 自動グリコヘモグロビン分析計, 全自動キャピラリー電気泳動装置, 血液ガス分析装置, 多項目自動血球分析装置, 塗抹標本作成装置, 全自動血液凝固測定装置
細菌検査室	185.0 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物検体処理システム, 全自動血液培養測定装置, 全自動同定感受性検査装置, 質量分析装置, 安全キャビネット, 光学顕微鏡
病理検査室	400.4 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動包埋装置, 自動染色装置, 自動免疫染色装置, 局所廃棄装置切り出し台, 局所廃棄装置付検体保管庫, 安全キャビネット, バーチャルスライド, スマートセクション等
病理解剖室	63.3 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台, 高圧滅菌装置, ホルマリン希釈装置, 臓器乾燥装置, 遺体保存冷蔵庫, 教育用カメラシステム等
研究室	3,343 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット, 電子顕微鏡, 自動血液培養装置, 質量分析装置等
講義室	561 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2 室 收容定員 420 人
図書室	142 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1 室 蔵書数 14,570 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	78.4	%	逆紹介率	45.6	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		15,641		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,062		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,633		人
	D: 初診の患者の数		22,033		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院 医療安全管理部 部長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	無	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	無	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	病院ホームページにて公表。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレード(高速回転冠動脈アテレクトミー)による冠動脈形成術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 高度石灰化病変をロータブレードで削り、その後に、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 経カテーテル人工生体弁セットを用いて大動脈弁置換術を実施			
医療技術名	低出力半導体レーザーによる光学式齶蝕検査	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 低出力半導体レーザーを利用した小型の装置で、歯質への侵襲なく、観察困難な部位の齶蝕の進行状態を客観的数値データとして評価する。			
医療技術名	有床義歯咀嚼機能検査	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要 有床義歯の適応が必要な患者に対し治療前後に咀嚼機能を検査する。治療効果の判定や治療方法に対する改善点を検討するための情報として利用し治療効果の向上を目指す。			
医療技術名	口腔機能検査	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 グルコース溶出量による咀嚼能力検査、口腔湿潤計による口腔乾燥検査、感圧型咬合シートを用いた咬合力検査、口腔清掃状態、舌や口唇の運動巧緻性評価、嚥下状態などを計測し、口腔機能状態を総合的に判断し、口腔機能低下症の発現予防・進行防止に貢献する。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	7
取扱い患者数の合計(人)	251



## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	71	原発性胆汁性肝硬変	51
2	筋萎縮性側索硬化症	13	72	原発性硬化性胆管炎	3
3	脊髄性筋萎縮症	3	73	自己免疫性肝炎	7
4	パーキンソン病	57	74	クローン病	136
5	大脳皮質基底核変性症	5	75	潰瘍性大腸炎	192
6	シャルコー・マリー・トゥース病	2	76	好酸球性消化管疾患	9
7	重症筋無力症	85	77	クリオピリン関連周期熱症候群	2
8	多発性硬化症／視神経脊髄炎	55	78	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	2
9	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	15	79	TNF受容体関連周期性症候群	1
10	多系統萎縮症	13	80	先天性ミオパチー	1
11	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	27	81	筋ジストロフィー	7
12	ライソゾーム病	6	82	アトピー性脊髄炎	1
13	副腎白質ジストロフィー	1	83	脊髄空洞症	3
14	ミトコンドリア病	5	84	脊髄腫瘍	2
15	もやもや病	68	85	遺伝性ジストニア	1
16	プリオン病	1	86	前頭側頭葉変性症	1
17	進行性多巣性白質脳症	1	87	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2
18	HTLV-1関連脊髄症	6	88	レノックス・ガストー症候群	1
19	全身性アミロイドーシス	29	89	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	1
20	ベスレムミオパチー	1	90	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
21	神経線維腫症	26	91	スタージ・ウェーバー症候群	1
22	天疱瘡	14	92	結節性硬化症	1
23	表皮水疱症	4	93	色素性乾皮症	1
24	膿疱性乾癬(汎発型)	7	94	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
25	高安動脈炎	30	95	特発性後天性全身性無汗症	3
26	巨細胞性動脈炎	10	96	弾性線維性仮性黄色腫	5
27	結節性多発動脈炎	16	97	マルファン症候群	9
28	顕微鏡的多発血管炎	53	98	ウィルソン病	5
29	多発血管炎性肉芽腫症	24	99	モワット・ウィルソン症候群	1
30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	100	アペール症候群	1
31	悪性関節リウマチ	31	101	ウェルナー症候群	2
32	パーンジャー病	1	102	ヌーナン症候群	1
33	原発性抗リン脂質抗体症候群	6	103	修正大血管転位症	1
34	全身性エリテマトーデス	285	104	単心室症	3
35	皮膚筋炎／多発性筋炎	91	105	三尖弁閉鎖症	1
36	全身性強皮症	116	106	ファロー四徴症	2
37	混合性結合組織病	58	107	アルポート症候群	2
38	シェーグレン症候群	41	108	急速進行性糸球体腎炎	2
39	成人スチル病	13	109	一次性ネフロゼ症候群	33
40	再発性多発軟骨炎	4	110	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4
41	ベーチェット病	64	111	紫斑病性腎炎	4
42	特発性拡張型心筋症	61	112	間質性膀胱炎(ハンナ型)	13
43	肥大型心筋症	42	113	オスラー病	5
44	再生不良性貧血	28	114	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	4
45	自己免疫性溶血性貧血	3	115	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
46	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	116	フェニルケトン尿症	4
47	特発性血小板減少性紫斑病	19	117	メチルマロン酸血症	1
48	血栓性血小板減少性紫斑病	2	118	ポルフィリン症	1
49	原発性免疫不全症候群	11	119	肝型糖尿病	1
50	IgA腎症	49	120	脳腫黄色腫症	1
51	多発性嚢胞腎	21	121	脂肪萎縮症	1
52	黄色靱帯骨化症	14	122	家族性地中海熱	32
53	後縦靱帯骨化症	63	123	強直性脊椎炎	23
54	広範脊柱管狭窄症	3	124	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
55	特発性大腿骨頭壊死症	50	125	後天性赤芽球癆	3
56	下垂体性ADH分泌異常症	18	126	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
57	下垂体性TSH分泌亢進症	2	127	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
58	下垂体性PRL分泌亢進症	9	128	胆道閉鎖症	6
59	クッシング病	6	129	IgG4関連疾患	16
60	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14	130	黄斑ジストロフィー	3
61	下垂体前葉機能低下症	43	131	好酸球性副鼻腔炎	12
62	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	132	シトリン欠損症	1
63	先天性副腎皮質酵素欠損症	2	133	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	4
64	サルコイドーシス	69	134	無虹彩症	2
65	特発性間質性肺炎	76	135	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	1
66	肺動脈性肺高血圧症	26	136	特発性多中心性キャッスルマン病	13
67	慢性血栓性肺高血圧症	23			
68	リンパ管筋腫症	10			
69	網膜色素変性症	5			
70	バッド・キアリ症候群	3			

疾患数	136
合計患者数(人)	2,647

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)
・入院栄養管理体制加算	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・診療録管理体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1(20対1)	・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)
・看護補助体制充実加算(急性期看護補助体制加算)	・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算2)
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・看護補助体制充実加算(看護補助加算)
・療養環境加算	・重症者等療養環境特別加算
・無菌治療室管理加算1	・無菌治療室管理加算2
・放射線治療病室管理加算1(治療用放射性同位元素による場合)	・放射線治療病室管理加算2(密封小線源による治療)
・緩和ケア診療加算	・精神科応急入院施設管理加算
・精神病棟入院時医学管理加算	・精神科身体合併症管理加算
・精神科リエゾンチーム加算	・摂食障害入院医療管理加算
・栄養サポートチーム加算	・医療安全対策加算1
・感染対策向上加算1	・指導強化加算
・患者サポート体制充実加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・ハイリスク妊娠管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・呼吸ケアチーム加算	・後発医薬品使用体制加算2
・病棟薬剤業務実施加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・データ提出加算(2)	・入退院支援加算(1)
・入退院支援加算(3)	・入院時支援加算(入退院支援加算)
・認知症ケア加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神疾患診療体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・地域歯科診療支援病院入院加算	・排尿自立支援加算
・地域医療体制確保加算	・救命救急入院料1



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・外来腫瘍化学療法診療料1
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・外来腫瘍化学療法診療料の注6に規定する連携充実加算
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・ニコチン依存症管理料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3の加算 腎代替療法実績加算	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・喘息治療管理料	・がん治療連携計画策定料
・糖尿病合併症管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・外来排尿自立指導料
・がん患者指導管理料イ	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料ロ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ハ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ニ	・検査・画像情報提供加算／電子的診療情報評価料
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・がんゲノムプロファイリング評価提供料
・糖尿病透析予防指導管理料	・禁煙治療補助システム指導管理加算
・小児運動器疾患指導管理料	・禁煙治療補助システム指導管理加算 禁煙治療補助システム加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅療養後方支援病院
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・一般不妊治療管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・生殖補助医療管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料1	・遺伝学的検査
・二次性骨折予防継続管理料3	・染色体検査 流産検体を用いた絨毛染色体検査
・下肢創傷処置管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・院内トリアージ実施料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
・外来放射線照射診療料	・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がんゲノムプロファイリング検査	・CT撮影/MRI撮影
・先天性代謝異常症検査	・冠動脈CT撮影加算
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・外傷全身CT加算
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)/抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・大腸CT撮影加算
・HPV核酸検出	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・乳房MRI撮影加算
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・小児鎮静下MRI撮影加算
・検体検査管理加算(IV)	・頭部MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・画像診断管理加算3
・遺伝カウンセリング加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・無菌製剤処理料
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・外来化学療法加算1
・時間内歩行試験/シャトルウォーキングテスト	・連携充実加算
・胎児心エコー法	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・ヘッドアップティルト試験	・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)
・皮下連続式グルコース測定	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・(脳血管疾患等リハビリテーション初期加算)
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・歯科口腔リハビリテーション料2
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料(I)
・補聴器適合検査	・(運動器リハビリテーション初期加算)
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・小児食物アレルギー負荷検査	・(呼吸器リハビリテーション初期加算)
・内服・点滴誘発試験	・がん患者リハビリテーション料
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)
・経気管支凍結生検法	・精神科作業療法
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療保護入院等診療料	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・多血小板血漿処置	・仙骨神経刺激装置植込術/仙骨刺激装置交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・角結膜悪性腫瘍切除術
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・人工腎臓	・羊膜移植術
・導入期加算3	・緑内障手術 眼内法
・透析液水質確保加算	・緑内障手術 その他のもの
・慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・緑内障手術 濾過胞再建術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・処置の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・網膜再建術
・自家脂肪注入	・植込型骨導補聴器植込術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・耳管用補綴材挿入術
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術 1・2
・骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・人工中耳植込術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・人工中耳用材料
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・人工内耳植込術
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・植込型骨導補聴器移植術/植込型骨導補聴器交換術
・椎間板内酵素注入療法	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・内視鏡下脳腫瘍生検術	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・内視鏡下脳腫瘍摘出術	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)/乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)/脳刺激装置交換術	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 4気管支形成を伴う肺切除	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・同種死体肺移植術	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・生体部分肺移植術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)／内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術／胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)／小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)／結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)／腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)／尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)／膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)／腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・内視鏡下筋層切開術	・体外衝撃波胆石破碎術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下弁置換術	・生体部分肝移植術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・同種死体肝移植術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・ペースメーカー移植術／ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・ペースメーカー移植術／ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)／両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)／植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下腓頭腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)／両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腓頭腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・同種死体腓移植術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・同種死体腓腎移植術
・補助人工心臓	・同種死体小腸移植術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下小切開腎摘出術	・体外式膜型人工肺管理料
・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・輸血管理料 I
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・自己生体組織接着剤作成術
・同種死体腎移植術	・自己クリオプレシビテート作製術(用手法)
・生体腎移植術	・同種クリオプレシビテート作製術
・膀胱水圧拡張術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ハンナ型間質性膀胱炎手術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・手術の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)	・麻酔管理料(I)
・埋没陰茎手術	・周術期薬剤管理加算(麻酔管理料(I))
・陰嚢水腫手術 鼠径部切開によるもの	・麻酔管理料(II)
・陰嚢水腫手術 その他	・周術期薬剤管理加算(麻酔管理料(II))
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下仙骨腔固定術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算(全乳房照射)
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・強度変調放射線治療(IMRT)



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・体外照射呼吸性移動対策加算	・レーザー機器加算
・1回線量増加加算(前立腺照射)	・歯科麻酔管理料
・定位放射線治療	・周術期薬剤管理加算(歯科麻酔管理料)
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・画像誘導密封小線源治療加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・デジタル病理画像による病理診断	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・病理診断管理加算2	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・歯科矯正診断料
・保険医療機関間の連携による病理診断	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	・口腔病理診断管理加算2
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算	・入院時食事療養(I)・入院時生活療養費(I)
・歯科治療時医療管理料	・
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ/ロ	・
・有床義歯咀嚼機能検査2のイ/ロ	・
・咀嚼能力検査	・
・咬合圧検査	・
・精密触覚機能検査	・
・睡眠時歯科筋電図検査	・
・歯科画像診断管理加算1	・
・歯科画像診断管理加算2	・
・手術用顕微鏡加算	・
・歯根端切除手術の注3	・
・口腔粘膜処置	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補 委	元
ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的科学評価と早期依存対策に向けた基盤研究	大山 要	薬剤部	14,300,000	補 委	日本学術振興会
ATL発症クローンの同定・解析に基づく病因解明と個別化検査法の確立	長谷川 寛雄	検査部	2,000,000	補 委	日本学術振興会
単球・マクロファージおよびミクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析	田崎 修	高度救命救急センター	3,300,000	補 委	日本学術振興会
小児がん患者における入院中の活動量(体位変換の量を含む)と運動機能に関する調査	夏迫 歩美	リハビリテーション部	207,697	補 委	日本学術振興会
ナノ銀イオンコーティングによるインプラント上部構造のプラーク沈着抑制効果	里 美香	歯科衛生士室	213,520	補 委	日本学術振興会
胃酸分泌抑制薬がオキサリプラチンの神経障害に及ぼす影響に関する検討	橋詰 淳哉	安全管理部	460,000	補 委	日本学術振興会
個々の赤血球容積および平均赤血球容積の正確性を探る	森 沙耶香	検査部	450,000	補 委	日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	長谷川 寛雄	検査部	150,000	補 委	日本学術振興会
深層学習を用いた舌骨上・下筋群の協調パターン解析に基づく嚥下機能評価技術の確立	玉田 泰嗣	特殊歯科総合診療部	50,000	補 委	日本学術振興会
遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に関する看護職者教育プログラムの開発	松本 恵	腫瘍外科 (第一外科)	800,000	補 委	日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症での新規アポトーシス誘導物質の病態への関連性と新規治療法の開発	江口 正倫	循環器内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
肺非結核性抗酸菌症と腸内細菌叢の関連性の解析	今村 圭文	呼吸器内科 (第二内科)	1,300,000	補 委	日本学術振興会

独自ラット肺移植モデルを用いた間葉系幹細胞による拒絶抑制法の開発	宮崎 拓郎	腫瘍外科 (第一外科)	800,000	補 委	日本学術 振興会
デクスメトミジンの心筋保護作用と心臓血管外科周術期管理への応用	東島 潮	麻酔科	400,000	補 委	日本学術 振興会
てんかん原生獲得におけるNeurovascular unit機能破綻の機序解明	馬場 史郎	脳神経外科	700,000	補 委	日本学術 振興会
腎癌におけるフェロトーシスの分子機構の解明と新たな治療戦略の構築	望月 保志	泌尿器科・腎移植外科	1,000,000	補 委	日本学術 振興会
絨毛性疾患における妊娠関連胎盤特異的microRNAの臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	900,000	補 委	日本学術 振興会
胎児由来mRNA/microRNAの機能解析とその臨床的意義に関する研究	永田 愛(東島)	産科婦人科	800,000	補 委	日本学術 振興会
外傷性咬合による骨吸収におけるHMGB1の関与	鵜飼 孝	口腔管理センター	1,000,000	補 委	日本学術 振興会
痛みを伴うのに咬みしめはどうして習癖に移行するのか？ -筋抵抗性変化との関連-	鳥巢 哲朗	義歯補綴治療室	800,000	補 委	日本学術 振興会
骨形成におけるROSの影響とそれを抑制するインプラント表面の設計	尾立哲郎	冠補綴治療室	1,100,000	補 委	日本学術 振興会
頸部聴診法の人工知能化による嚥下モニターの開発	玉田 泰嗣	特殊歯科総合診療部	600,000	補 委	日本学術 振興会
多機能性経肺投与型ナノ微粒子を基盤とした難治性肺がんに対する遺伝子・核酸医薬開発	兒玉 幸修	薬剤部	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
適正な医療資源活用と医療費抑制のためのがん薬物療法効果予測研究	福田 実	がん診療センター	1,200,000	補 委	日本学術 振興会
生体外MRIで作成した高分解能定量的磁化率マップによる動脈硬化性プラーク成分解析	石丸 英樹	放射線科	200,000	補 委	日本学術 振興会
発汗障害解明に向けた汗腺の上皮間葉転換分子動態の解析	小池 雄太	皮膚科・アレルギー科	1,400,000	補 委	日本学術 振興会
神経微小環境と免疫細胞の相互作用による膵発癌・増悪の機序解明	田中 貴之	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	補 委	日本学術 振興会
重症患者における小腸粘膜細胞傷害 -発生メカニズムの解明と新規治療戦略の構築-	関野 元裕	集中治療部	900,000	補 委	日本学術 振興会

長時間の高濃度酸素吸入が幹細胞の動員と臓器虚血再灌流傷害に与える影響	稲富 千亜紀	麻酔科	1,100,000	補委	日本学術振興会
SGLT2阻害薬による心筋虚血再灌流傷害に対する心保護効果の機序解明	柴田 伊津子	麻酔科	1,000,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞に対する幹細胞移植後の機能回復に関連する脳可塑性の解明	日宇 健	脳神経外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
腎癌における逐次交換療法における効果予測モデルの構築:免疫複合体に注目した検討	光成 健輔	泌尿器科・腎移植外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌患者の口腔内細菌叢Dysbiosis同定と革新的癌複合免疫療法開発	岡野 慎士	病理診断科・病理部	1,100,000	補委	日本学術振興会
骨吸収抑制薬閉鎖顎骨壊死に対するMRIの役割	佐々木 美穂	歯科放射線室	1,200,000	補委	日本学術振興会
人工知能を用いた口腔がんの細胞診・予後判定システムの開発	見立 英史	顎口腔再生外科室(第二口腔外科)	600,000	補委	日本学術振興会
地域医療情報システムを用いた脳卒中・心疾患共通レジストリ構築と予後予測因子の探索	立石 洋平	脳神経内科	600,000	補委	日本学術振興会
間質性肺疾患におけるフレイルの意義と神経筋電気刺激療法による介入戦略	花田 匡利	リハビリテーション部	700,000	補委	日本学術振興会
肺リンパ腫における気管支肺胞洗浄液を用いた内科的診断手法の確立	原 敦子	呼吸器内科(第二内科)	500,000	補委	日本学術振興会
単球機能解析からアプローチする全身性強皮症の新規バイオマーカーおよび治療標的の同定	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科(第一内科)	1,200,000	補委	日本学術振興会
Trained immunityによるアトピー性気管支喘息根治療法の開発	深堀 範	呼吸器内科(第二内科)	444,588	補委	日本学術振興会
hsdS遺伝子組換え膜透過性固定株を用いた侵襲性肺炎球菌感染症のメカニズム解明	山本 和子	呼吸器内科(第二内科)	800,000	補委	日本学術振興会
好中球機能に着目したインフルエンザ関連細菌性肺炎の重症化機序解明	小佐井 康介	検査部	1,200,000	補委	日本学術振興会
ウルトラファインバブル(ナノバブル)水を使用した創傷治癒促進戦略	大石 海道	腫瘍外科(第一外科)	1,500,000	補委	日本学術振興会
脂肪幹細胞による肺胞バリア機能強化とALI/ARDSへの新たな細胞治療の基礎研究	石井 光寿	腫瘍外科(第一外科)	1,200,000	補委	日本学術振興会

悪性腸腰筋症候群の病態に筋紡錘が与える影響の解明と疼痛コントロール方法の検討	石井 浩二	麻酔科	1,300,000	補委	日本学術振興会
カルシウムハンドリング制御による敗血症性心筋症の治療戦略	吉富 修	麻酔科	1,200,000	補委	日本学術振興会
$\beta$ -シクロデキストリンの包接および除放作用を応用した新規根管貼薬剤の開発	柳口 嘉治郎	保存・補綴歯科(虫歯治療室)	1,900,000	補委	日本学術振興会
多施設共同研究による舌癌予防郭清の適応決定、バイオマーカー検索と組織バンクの構築	大鶴 光信	口腔顎顔面外科室(第一口腔外科)	1,500,000	補委	日本学術振興会
ペムプロリズマブの治療効果予測に関する薬剤感受性機構の解明	鳴瀬 智史	口腔顎顔面外科室(第一口腔外科)	1,300,000	補委	日本学術振興会
口腔がんの進展・転移における低酸素環境下でのcPLA2の働き	佛坂 由可	口腔顎顔面外科室(第一口腔外科)	1,400,000	補委	日本学術振興会
がん化学療法誘発口腔粘膜炎に対するTNF- $\alpha$ アンタゴニストの効果についての検討	吉松 昌子	口腔管理センター	800,000	補委	日本学術振興会
遠隔専門医療支援におけるサイバーコンサルテーションの有用性の検討	辻野 彰	脳神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
ICT連携の検査データ共有による糖尿病コントロールと歯周治療の数値的関係の解明	山下 利佳	口腔管理センター	1,500,000	補委	日本学術振興会
健診コホートのプロテオミクスと人工知能を基盤とする関節リウマチ個別化予防の構築	大山 要	薬剤部	7,000,000	補委	日本学術振興会
セラミド含有exosomeを介した新規NASH進展メカニズムの解明	福島 真典	消化器内科	500,000	補委	日本学術振興会
原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析	佐藤 信也	血液内科(原研内科)	1,000,000	補委	日本学術振興会
HER2陽性乳癌のイメージガイド下手術におけるtracer検索	大坪竜太	腫瘍外科(第1外科)	800,000	補委	日本学術振興会
敗血症における腸管虚血の制御:循環作動薬および鎮静薬が腸管血流に与える影響	横山 陽香(井上 陽香)	麻酔科	600,000	補委	日本学術振興会
男性骨粗鬆症の病態解明を目指したコホート調査:高解像度定量的CTによる解析	岡崎 成弘	整形外科	200,000	補委	日本学術振興会
交代勤務看護師を対象とした認知行動療法を用いた睡眠衛生教育プログラムの確立	長浦 由紀(現姓:牛込由紀)	総合診療科	300,000	補委	日本学術振興会

生体における膝関節動態解析。健全、靭帯損傷、変形性関節症を含む。	中添 悠介	整形外科	300,000	補委	日本学術振興会
臨床研究の質と研究者を取り巻く環境要因および心理的要因との関連	佐藤 俊太郎	臨床研究センター (臨床研究ユニット)	900,000	補委	日本学術振興会
浸潤性粘液腺癌の原因遺伝子解析研究	黒田 揮志夫	病理診断科・病理部	1,500,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌分子標的薬治療の有害事象予測モデルを組み合わせた新規効果予測	佐々木 龍	消化器内科	800,000	補委	日本学術振興会
プロサイモシン $\alpha$ 由来ペプチドによるシスプラチン誘発性腎障害の新規予防法開発	鳥越 健太	腎臓内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔内細菌叢とACPA成熟に着目したRA発症機序の解明	辻 良香	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,500,000	補委	日本学術振興会
T細胞に着目した特発性多中心性キャッスルマン病の病態解明	住吉 玲美	臨床研究センター	1,000,000	補委	日本学術振興会
シェーグレン症候群唾液腺におけるTLR7シグナル活性および機能解析	清水 俊匡	臨床研究センター	1,700,000	補委	日本学術振興会
ボリュームカブノグラム分析を用いた肺内シャントの検討	荒木 寛	集中治療部	500,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞が敗血症における凝固線溶機能に与える影響:組織因子を指標とした検討	矢野 倫太郎	集中治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
羊膜マイクログラフト混成型人工神経による末梢神経再生	岩尾 敦彦	形成外科	1,700,000	補委	日本学術振興会
歯髄由来幹細胞新規分離膜による歯髄組織由来膜分取幹細胞の分取法の確立	山本 耕平	歯科保存治療室	1,700,000	補委	日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の治療予後に寄与する骨膜反応の放射線学および病理組織学的解析	林田 咲	口腔顎顔面外科 (第一口腔外科)	1,300,000	補委	日本学術振興会
成育期における咀嚼・嚥下機能発達と顎顔面形態成長の相互制御機構の解明	吉見 知子	矯正歯科	1,600,000	補委	日本学術振興会
正確で簡便な看護業務時間測定と評価による業務改善システムの検証と実装に向けた研究	岡田 みずほ	看護部管理室	1,000,000	補委	日本学術振興会
魚介アレルギー患者の血清IgEの測定とアレルゲンの同定	松本 舞	皮膚科・アレルギー科	1,200,000	補委	日本学術振興会

被膜のない甲状腺濾胞性病変の意義:結節内結節病変に着目した分子病理学的解析	黒濱 大和	病理診断科・病理部	1,400,000	補委	日本学術振興会
乳癌発癌機構におけるゲノム不安定性の53BP1を指標とした総合的解析	上木 望	地域病理診断支援センター	700,000	補委	日本学術振興会
COVID-19患者における口腔内細菌叢の解析	太田 賢治	検査部	1,800,000	補委	日本学術振興会
低分子化合物による肝前駆細胞を用いた肝加齢性変化の改善、若返り治療	原 貴信	移植・消化器外科(第二外科)	1,300,000	補委	日本学術振興会
臍帯由来間葉系幹細胞誘導筋芽細胞を用いた革新的消化器手術合併症予防法の開発	小林 慎一郎	移植・消化器外科(第二外科)	900,000	補委	日本学術振興会
マウス小腸移植モデルを用いた小腸移植後抗体関連型拒絶反応の発症機序と治療法の解明	松島 肇	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	補委	日本学術振興会
Ex vivo再生肺における生体内微小環境を再現した肺胞上皮構造の再構築	橋本 泰匡	腫瘍外科(第一外科)	1,500,000	補委	日本学術振興会
ケミカルダイレクトリプログラミングによる肺胞上皮細胞誘導法の開発	土肥 良一郎	腫瘍外科(第一外科)	1,800,000	補委	日本学術振興会
変形性顎関節症(SAMP3)マウスを用いた顎関節形態変化と顎機能障害の関連の解明	森内 絵美	矯正歯科	2,000,000	補委	日本学術振興会
肺癌術後患者における術後呼吸筋機能障害に着目した新たなアプローチの検討	及川 真人	リハビリテーション部	2,100,000	補委	日本学術振興会
乳幼児のガンシクロビル治療最適化のための薬物動態解析と治療効果に関する研究	里 加代子	薬剤部	700,000	補委	日本学術振興会
骨形成不全症患者の骨折治療促進を目的とした高機能骨誘導性基質の開発	野田 さわこ (改姓:石井さわこ)	医療教育開発センター(歯科)	900,000	補委	日本学術振興会
羊膜由来間葉系幹細胞における細胞接着メカニズムに基づいた骨芽細胞分化誘導法の開発	江頭 寿洋	口腔管理センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
二光子励起顕微鏡を用いた口腔癌のイメージングと深部評価のためのツール開発	緒方 絹子	顎口腔再生外科室(第二口腔外科)	1,400,000	補委	日本学術振興会
嗅覚受容による全く新しい発汗制御:熱中症予防や発汗異常の治療方法の確立にむけて	村山 直也	皮膚科・アレルギー科	1,100,000	補委	日本学術振興会
ナノバブルを用いた新規根管洗浄システムの有効性および安全性の検討	中園 史子	歯科保存治療室	1,300,000	補委	日本学術振興会
多剤耐性緑膿菌による人工呼吸器関連肺炎モデルにおけるIL-22の有効性の検討	岩永 直樹	呼吸器内科(第二内科)	1,200,000	補委	日本学術振興会



銀系無機抗菌剤と上皮成長因子伝達能を有するティッシュコンディショナーの開発	叶井 里歩	義歯補綴治療室	1,200,000	補委	日本学術振興会
見える化した医療者の手技と機能評価を学習した人工知能による嚥下機能評価法の構築	高橋 陽助	麻酔・生体管理科	1,200,000	補委	日本学術振興会
リハビリテーション効果を促進する新たな介入戦略としてのN-back課題の有効性	光永 済	リハビリテーション部	1,200,000	補委	日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	矢野 雄大	リハビリテーション部	10,000	補委	日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	関野 元裕	麻酔科	10,000	補委	日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	花田 匡利	リハビリテーション部	10,000	補委	日本学術振興会
共生細菌の糖利用競争力を利用した耐性菌制御法の構築	村田 美香	検査部	150,000	補委	日本学術振興会
HTLV-1のシェーグレン症候群病態形成への直接的関与	清水 俊匡	臨床研究センター	600,000	補委	日本学術振興会
アミノ酸固定化カラムと神経筋接合部に対する病原性自己抗体	吉村 俊祐	脳神経内科	100,000	補委	日本学術振興会
ホワイトボックス型AIによる睡眠データからの不顕性誤嚥群検出とそのメカニズム解明	玉田 泰嗣	特殊歯科総合診療部	350,000	補委	日本学術振興会
ホワイトボックス型AIによる睡眠データからの不顕性誤嚥群検出とそのメカニズム解明	土井 めぐみ	看護部 7階東	100,000	補委	日本学術振興会
灌流型3次元血液脳関門モデルを用いた中枢神経系疾患治療薬の開発	諸藤 陽一	脳神経外科	2,500,000	補委	日本学術振興会
Ex vivo再生肺創出への生理的刺激の最適化と国際基盤的研究ネットワークの構築	土谷 智史	腫瘍外科学(第一外科)	3,500,000	補委	日本学術振興会
自己細胞を用いた人工気管による再生医療と難治性気道疾患への応用	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一外科)	2,200,000	補委	日本学術振興会
病因関連分子と治癒関連分子を基盤とした薬剤関連顎骨壊死の新規分子標的治療法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	2,900,000	補委	日本学術振興会
組織骨格を利用した再生臓器におけるハイブリッド型血管ニッチの確立と移植研究	土谷 智史	腫瘍外科学(第一外科)	2,300,000	補委	日本学術振興会

ブレンジョンインプラント治療を目指した時間依存性荷重誘発型骨質最適化分子の探索	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	3,000,000	補委	日本学術振興会
生理活性物質徐放能とナノ複合化光触媒機能をもつ多機能粘弾性軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	2,300,000	補委	日本学術振興会
口腔健康状態は4大死因につながる生活習慣病へ影響するか? :五島コホート研究	齋藤 俊行	口腔保健学(予防歯科)	2,300,000	補委	日本学術振興会
自己細胞を用いた人工気管による再生医療と難治性気道疾患への応用	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一外科)	963,144	補委	日本学術振興会
生理活性物質徐放能とナノ複合化光触媒機能をもつ多機能粘弾性軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	1,279,805	補委	日本学術振興会
HTLV-1の分子系統別疾患感受性の解明と層別化コホート研究の構築	前田 隆浩	総合診療科	5,300,000	補委	日本学術振興会
ES細胞由来小腸オルガノイドを用いた再生医療による短腸症候群の革新的治療	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	4,900,000	補委	日本学術振興会
口腔健康状態は生活習慣病や認知機能へ影響するか? :五島コホート研究	齋藤 俊行	口腔保健学(予防歯科)	3,600,000	補委	日本学術振興会
AI技術を活用した『真の寛解』を目指した次世代関節リウマチ診療アルゴリズムの構築	川尻 真也	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	700,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチの精密医療の実現を目指す多角的な病態解析研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,000,000	補委	日本学術振興会
家族性地中海熱の「早期診断」と「精密医療の実現」に向けたバイオマーカーの開発	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,100,000	補委	日本学術振興会
凍結および真空乾燥ヒト羊膜を利用した新規呼吸器外科領域被覆材の創製	永安 武	腫瘍外科学(第一外科)	1,500,000	補委	日本学術振興会
SERCA2aを標的にした新規心不全治療薬による敗血症性左室拡張機能の制御	石崎 泰令	麻酔科	1,000,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析を軸にした網膜色素変性の病態解明と新規治療法開発	大石 明生	眼科	1,000,000	補委	日本学術振興会
骨細胞を基軸としたリン依存性オートファジー誘発型骨老化機構の解明	佐々木 宗輝	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,100,000	補委	日本学術振興会
光合成の触媒系を象牙質接着強化に応用し歯根を保存するバイオミネラル研究	平 曜輔	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	300,000	補委	日本学術振興会

高齢者・有病者・障害者のための簡易な固定性補綴歯科治療の提言	田上 直美	小児歯科学	800,000	補委	日本学術振興会
進行性神経変性疾患におけるQOL向上型口腔機能評価法の開発	島田 明子	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	700,000	補委	日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する研究	川崎 五郎	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	800,000	補委	日本学術振興会
マルチパラメトリックMRIを用いた高精度口腔癌リンパ節転移予測法の確立	角 美佐	歯科放射線学	1,000,000	補委	日本学術振興会
放射線によって活性化されるcPLA2の役割	片山 郁夫	歯科放射線学	600,000	補委	日本学術振興会
上気道閉塞徴候と麻酔科医の診断・処置データを深層学習させた麻酔管理ロボットの開発	鮎瀬 卓郎	歯科麻酔学	200,000	補委	日本学術振興会
S.mutansとS.sobrinusの共感染による重症う蝕発生メカニズムの解明	藤原 卓	小児歯科学	900,000	補委	日本学術振興会
HSP47をターゲットとした肺線維症治療薬の開発	迎 寛	呼吸器内科(第二内科)	1,100,000	補委	日本学術振興会
肺線維症における $\gamma$ $\delta$ 細胞の役割解明と治療応用に向けた基盤研究	坂本 憲穂	呼吸器内科(第二内科)	1,100,000	補委	日本学術振興会
カルボキシメチルセルロース(CMC)アレルギーの実態調査と発症病態の解明	橋本 邦生	小児科学	2,200,000	補委	日本学術振興会
アスペルギルスと非結核性抗酸菌の細胞間コミュニケーションを介した難治化機序の解明	泉川 公一	感染制御教育センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
宿主免疫機構と細菌叢の作用を連携させた、細菌感染に対する新規治療法の開発	坂本 啓	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,200,000	補委	日本学術振興会
ESBL産生菌の腸内定着に寄与するマイクロバイオームの解明と新規制御法への展開	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	900,000	補委	日本学術振興会
括約筋再生のための機能的筋細胞シートの開発	金高 賢悟	移植・消化器外科(第二外科)	1,100,000	補委	日本学術振興会
薬理的循環補助におけるアドレナリン $\beta$ 2受容体の役割	原 哲也	麻酔科	1,200,000	補委	日本学術振興会
ドラッグリポジショニングによる中枢神経疾患治療薬の開発	諸藤 陽一	脳神経外科	1,400,000	補委	日本学術振興会

歯周病によるNLRP3インフラマソーム活性化が全身疾患に及ぼす影響	吉村 篤利	歯周歯内治療学	1,100,000	補委	日本学術振興会
天然活性物質含有ナノバブル水を利用した無髄歯に対する革新的象牙質改質剤の開発	山田 志津香	歯周歯内治療学	1,900,000	補委	日本学術振興会
アクチン動態に基づく臍帯由来間葉系幹細胞における骨芽細胞分化誘導法	岩竹 真弓	腫瘍外科学(第一外科)	1,400,000	補委	日本学術振興会
ステロイド軟膏による放射線性口腔粘膜炎予防と口腔内細菌叢変化に関する第Ⅲ相試験	村田 真穂	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	500,000	補委	日本学術振興会
USを用いた高精度口腔癌リンパ節転移診断法の確立	榮田 智	歯科放射線学	1,100,000	補委	日本学術振興会
組織常在CD34陽性細胞の分化機序を標的とした放射線性唾液腺萎縮症の治療薬の開発	井 隆司	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,200,000	補委	日本学術振興会
高機能細胞治療薬E-MNCを用いた放射線性顎骨壊死の治療法の確立	大場 誠悟	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,200,000	補委	日本学術振興会
軟食化と神経伝達異常が咀嚼・嚥下機能に及ぼす影響の解明とオーラルフレイル予防戦略	吉田 教明	矯正歯科(歯科矯正学)	900,000	補委	日本学術振興会
歯根吸収抑制におけるcPLA2の役割ー硝子様変性と破歯細胞活性を標的にしてー	佛坂 斉社	矯正歯科(歯科矯正学)	900,000	補委	日本学術振興会
「複数菌の病原性を抑えて混合感染症を制御する」に向けた試み	西口 美由季	小児歯科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
低濃度フッ化物を用いた放射線性う蝕予防に関する多施設共同第Ⅲ相試験	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	1,000,000	補委	日本学術振興会
医療・介護連結ビッグデータによるポリファーマシーと介護リスクの関連分析	永田 康浩	地域医療学	1,200,000	補委	日本学術振興会
4D Flow MRIによる大動脈の流体力学的評価:高血圧が与える影響の解明	末吉 英純	放射線診断治療学	1,800,000	補委	日本学術振興会
デジタルパソロジーによる病因に基づく非アルコール性脂肪性肝疾患の病理像の探索	宮明 寿光	消化器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
活性化肝星細胞におけるSOCS3のエピジェネティック抑制とSTAT3の活性化亢進	中尾 一彦	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧における長鎖ノンコーディングRNAの意義の解明	前村 浩二	循環器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会

関節炎が起こる前段階で関節リウマチの発症を人工知能で予測する多角的研究	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	900,000	補委	日本学術振興会
膝島内環境における細胞代謝変化と自己免疫性糖尿病進展の関連性の検討	二里 哲朗	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,200,000	補委	日本学術振興会
低分子化合物誘導された肝前駆細胞による胆汁排出システムを兼ね備えた肝組織の開発	日高 匡章	移植・消化器外科(第二外科)	1,100,000	補委	日本学術振興会
重症二次性三尖弁逆流に対するスパイラル・サスペンション法の有効性に関する臨床研究	三浦 崇	心臓血管外科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
オピオイド受容体の細胞内局在と活性変化に基づく最適なオピオイド順次投与法の確立	村田 寛明	麻酔科	1,000,000	補委	日本学術振興会
顕微鏡手術へのロボット導入の為に高解像度3Dモニター下微細手術の問題解明	松尾 孝之	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
がん脳転移にペリサイトが及ぼす影響をin vitro血液脳関門モデルで解明する	氏福 健太	脳神経外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
灌流型3次元血液脳関門モデルを用いた中枢神経保護薬の探求	出雲 剛	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
膀胱癌におけるステージ特異的胚性抗原の病的意義の解明と治療効果予測モデルの構築	宮田 康好	泌尿器科	1,200,000	補委	日本学術振興会
陣痛発来と関連するRNAプロファイルの同定とその臨床的意義に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	1,600,000	補委	日本学術振興会
卵巣の局所炎症による卵巣周囲間質細胞を介した卵巣予備能の低下機序の解明	北島 道夫	産科婦人科	1,400,000	補委	日本学術振興会
産科疾患における妊娠産物由来間葉系幹細胞・エクソソームの臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	1,600,000	補委	日本学術振興会
歯周病発症における新規小胞輸送因子の分子機構の解析	近藤 好夫	小児歯科学	1,100,000	補委	日本学術振興会
大規模コホート研究による口腔機能低下症の新規検査法開発研究	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	2,200,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞由来巨核球を骨誘導のデザイナー細胞として応用した新しい骨再生治療開発	住田 吉慶	細胞生物学	1,700,000	補委	日本学術振興会
皮下空洞菌球留置による慢性アスペルギルス症マウスモデルの開発	田代 将人	感染免疫学講座	800,000	補委	日本学術振興会

家族性肺癌における新規ドライバー遺伝子の機能解析	朝重 耕一	腫瘍外科学(第一外科)	800,000	補委	日本学術振興会
外傷性咬合による骨吸収への静止期破骨細胞前駆細胞の関与と血管内皮増殖因子の影響	山下 恭徳	歯周歯内治療学	1,000,000	補委	日本学術振興会
銀ナノ粒子担持加工技術を応用したアクリル系軟質リライン材への抗菌効果の付与	江越 貴文	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔癌細胞の浸潤を制御するリソソーム転写因子の同定と生体内動態の解析	坂元 裕	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	900,000	補委	日本学術振興会
正常圧水頭症におけるリンパティックシステム機能異常の解析	森本 芳郎	精神神経科学	900,000	補委	日本学術振興会
口腔粘膜上皮細胞シート移植による食道再生医療後の長期安全性評価基盤の構築	丸屋 安広	移植・消化器外科(第二外科)	1,600,000	補委	日本学術振興会
化学修飾microRNAや環状RNAを搭載した新規骨誘導性遺伝子活性化基質	四道 玲奈	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,000,000	補委	日本学術振興会
立体的薬物動態システムを利用したがん細胞の薬物耐性変化のモニタリング	宮本 大輔	移植・消化器外科(第二外科)	1,000,000	補委	日本学術振興会
弾性線維性仮性黄色腫の病態解明の研究ならびに重症度および予後因子の研究	岩永 聰	皮膚科	1,400,000	補委	日本学術振興会
血中循環腫瘍DNAを用いた甲状腺乳頭癌の新たな治療戦略基盤の構築	田中 彩	腫瘍外科学(第一外科)	1,000,000	補委	日本学術振興会
修飾一本鎖miRNAを搭載した新規遺伝子活性化人工骨基質の開発	檜原 峻	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,500,000	補委	日本学術振興会
即時埋入とPTH製剤の相乗的骨量・骨質向上効果による革新的インプラント治療法開発	右藤 友督	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,100,000	補委	日本学術振興会
荷重応答性骨質制御機構を応用した個別化インプラント荷重プロトコルの開発	内田 悠介	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,400,000	補委	日本学術振興会
核酸・新規カチオン性高分子複合体の空間的配置の適正化による新規骨誘導性基質の開発	原 昌士	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,100,000	補委	日本学術振興会
T細胞Secretome解析を用いた全身性エリテマトーデスの病態制御機構の解明	梅田 雅孝	総合診療学	1,200,000	補委	日本学術振興会
新敗血症定義に準拠した敗血症総合検査システム構築と国内及び東南アジアへ運用展開	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	500,000	補委	日本学術振興会

自己免疫性自律神経節障害の「多様性」に関する多角的 研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	100,000	補 委	日本学術 振興会
肝細胞/類洞/胆管を複合した 新規肝再構築技術の創出	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	100,000	補 委	日本学術 振興会
薬剤関連顎骨壊死の発症原因 解明と発症予防法確立に向けた 多施設共同前向き研究	梅田 正博	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	50,000	補 委	日本学術 振興会
ベーチェット病のゲノムワイド 亜型解析によるエビデンス創出 とレジストリー構築	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	50,000	補 委	日本学術 振興会
ベーチェット病のゲノムワイド 亜型解析によるエビデンス創出 とレジストリー構築	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	50,000	補 委	日本学術 振興会
環境中化学物質による気管支 喘息症の中心的役割としての エクソソームとそのmiRNA	尾長谷 靖	呼吸器内科(第二内科)	100,000	補 委	日本学術 振興会
薬剤関連顎骨壊死の発症原因 解明と発症予防法確立に向けた 多施設共同前向き研究	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	50,000	補 委	日本学術 振興会
自己炎症疾患の発作の周期性 や炎症の多様性を規定する 責任分子調節分子群の包括的 同定	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	100,000	補 委	日本学術 振興会
自己炎症疾患の発作の周期性 や炎症の多様性を規定する 責任分子群の包括的 同定	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	100,000	補 委	日本学術 振興会
心臓リモデリングにおける抗 線維化マクロファージの機能 解析	前村 浩二	循環器内科	200,000	補 委	日本学術 振興会
食品基礎科学を応用した新規 咀嚼機能評価法の開発と オーラルフレイルへの波及効果	梅田 正博	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	30,000	補 委	日本学術 振興会
「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン 2019」喀痰総論の改訂に向けた エビデンスの構築	迎 寛	呼吸器内科(第二内科)	50,000	補 委	日本学術 振興会
パイリンインフラマソーム活性化 メカニズムの解明とその制御 法の開発	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	50,000	補 委	日本学術 振興会
下顎無歯顎に応用する軟質 リライン材の臨床効果-多施設 ランダム化比較試験-	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	100,000	補 委	日本学術 振興会
マイクロ流体デバイスを用いた 血中循環がん細胞クラスター 抽出法の開発	住田 吉慶	細胞生物学	200,000	補 委	日本学術 振興会
軽度から中等度熱中症にお ける脳神経機能への影響と 予防法の開発	諸藤 陽一	脳神経外科	200,000	補 委	日本学術 振興会

樹状細胞を新機軸とした骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態解明と新規治療法・予防法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	200,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究	高木 幸則	歯科放射線学	80,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤メカニズムの分子生物学的検討	梅田 正博	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	10,000	補委	日本学術振興会
HTLV-1のシェーンゲレン症候群病態形成への直接的関与	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	200,000	補委	日本学術振興会
口腔常時菌による血流感染の発症機構に基づいた医科歯科連携による高度管理方法の構築	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	50,000	補委	日本学術振興会
肝ECMスポンジニードルを基盤とした肝表搭載型Detachable-Liver	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	150,000	補委	日本学術振興会
カーボンナノチューブを用いた自己細胞からなる人工管腔臓器の新たな作製技術の確立	町野 隆介	腫瘍外科学(第一外科)	1,200,000	補委	日本学術振興会
マウスモデルを用いたカンジダ属の薬剤耐性機序の解明	平山 達朗	薬物治療学	1,200,000	補委	日本学術振興会
慢性炎症をきたす持続感染症とサルコペニアとの関連の解明	山梨 啓友	総合診療学	910,000	補委	日本学術振興会
キャスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	8,999,000	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科	20,000,000	補委	厚生労働省
聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究	三浦 清徳	産科婦人科学	500,000	補委	厚生労働省
聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究	森内 浩幸	小児科学	500,000	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究	中尾 一彦	消化器内科学	200,000	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究	原 哲也	麻酔集中治療医学	200,000	補委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	1,000,000	補委	厚生労働省



HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	300,000	補 委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	600,000	補 委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科学	100,000	補 委	厚生労働省
HTLV-1母子感染対策および支援体制の課題の検討と対策に関する研究	森内 浩幸	小児科学	300,000	補 委	厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	室田 浩之	皮膚病態学	500,000	補 委	厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	伊達木 澄人	小児科学	200,000	補 委	厚生労働省
循環器病に関する適切な情報提供・相談支援のための方策と体制等の効果的な展開に向けた研究	前村 浩二	循環器内科学	200,000	補 委	厚生労働省
新型コロナウイルス感染症に対する院内および施設内感染対策の確立に向けた研究	柳原 克紀	臨床検査医学	526,954	補 委	厚生労働省
新型コロナウイルスの小児への影響の解明のための研究	森内 浩幸	小児科学	300,000	補 委	厚生労働省
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科	500,000	補 委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	室田 浩之	皮膚病態学	3,710,000	補 委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	川崎 五郎	口腔腫瘍治療学	420,000	補 委	厚生労働省
医療機関における院内感染対策の質向上のための研究	柳原 克紀	臨床検査医学	350,000	補 委	厚生労働省
5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究－ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて－	田崎 修	高度救命救急センター	5,950,000	補 委	厚生労働省

HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデル構築によるガイドランの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	松尾 朋博	泌尿器科	300,000	補 委	厚生労働省
地域医療構想を見据えた救急医療提供体制の構築に関する研究	高山 隼人	地域医療支援センター	250,000	補 委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	眼科	700,000	補 委	厚生労働省
トシリズマブ効果不十分の特発性多中心性キャッスルマン病に対するシロリムスの医師主導治験	川上 純	第一内科	77,999,998	補 委	日本医療研究開発機構
トシリズマブ効果不十分の特発性多中心性キャッスルマン病に対するシロリムスの医師主導治験	川上 純	第一内科	3,800,000	補 委	日本医療研究開発機構
表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療と腹腔鏡手術と再生医療を組み合わせた革新的な術式の開発	金高 賢悟	第二外科	84,500,000	補 委	日本医療研究開発機構
t(8;21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性を評価する研究	宮崎 泰司	血液内科学	17,550,000	補 委	日本医療研究開発機構
Roles of T follicular helper cells and tissue resident memory cells of mucosal immunity in COVID-19 disease severity	山本 和子	呼吸器内科	4,550,000	補 委	日本医療研究開発機構
無症状及び軽症COVID-19患者に対するネルフィナビルの有効性及び安全性を探索するランダム化非盲検並行群間比較試験	宮崎 泰可	臨床感染症学	58,500,000	補 委	日本医療研究開発機構
未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)): 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	吉浦 孝一郎	遺伝カウンセリング室	7,800,000	補 委	日本医療研究開発機構
新規血栓溶解薬テネクプラーゼの脳梗塞急性期再灌流療法への臨床応用を目指した研究	辻野 彰	脳神経内科	390,000	補 委	日本医療研究開発機構
難治性食道癌における Precision Medicineに資する診断技術開発に関する研究	松島 加代子	医療教育開発センター	130,000	補 委	日本医療研究開発機構
超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究	迎 寛	呼吸器内科	420,000	補 委	日本医療研究開発機構
症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロビル治療の開発研究	森内 浩幸	小児科	390,000	補 委	日本医療研究開発機構

低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究	芦澤 和人	臨床腫瘍学	260,000	補 委	日本医療研究開発機構
誘導型抑制性T細胞を用いた臓器移植における免疫寛容誘導を目指した第1/2相多施設共同医師主導治験	江口 晋	移植・消化器外科学	2,593,474	補 委	日本医療研究開発機構
低分子化合物によるヒト肝前駆細胞を用いた肝硬変治療	長井 一浩	細部療法部	2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病/リンパ腫の治癒を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	今泉 芳孝	ヒバクシャ医療	2,990,000	補 委	日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究	澤山 靖	血液内科	260,000	補 委	日本医療研究開発機構
高齢者急性骨髄性白血病の化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第II相臨床試験: JALSG-GML219試験	宮崎 泰司	血液内科学	780,000	補 委	日本医療研究開発機構
HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究	長谷川 寛雄	検査部	1,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
脳脊髄液減少症の病態生理と診断法の開発	里 龍晴	小児科	200,001	補 委	日本医療研究開発機構
臨床開発を目指したベッカー型筋ジストロフィーの自然歴調査研究	里 龍晴	病院・小児科	195,000	補 委	日本医療研究開発機構
保健・医療・介護・行政データを統合した大規模データベースを活用したワクチンの有効性・安全性の検証に資する研究開発	佐藤 俊太郎	臨床研究センター	2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験	池田 裕明	移植・消化器外科学	520,000	補 委	日本医療研究開発機構
MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験	池田 裕明	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	390,000	補 委	日本医療研究開発機構
COVID-19による中等症肺炎の治療薬開発—Phase IIa試験	迎 寛	呼吸器内科学	2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の患者レジストリ活用によるエビデンス創出	松尾 朋博	泌尿器科・腎移植外科	650,000	補 委	日本医療研究開発機構
HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の患者レジストリ活用によるエビデンス創出	川上 純	第一内科	650,000	補 委	日本医療研究開発機構

統合レジストリによる多発性筋炎／皮膚筋炎関連間質性肺疾患の個別化医療基盤の構築	川上 純	第一内科	780,000	補 委	日本医療研究開発機構
成人発症スチル病(AOSD)に対する5-アミノレブリン酸塩酸塩／クエン酸第一鉄ナトリウム(5-ALA HCL/SFC)投与の医師主導治験	川上 純	第一内科	104,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
低分子化合物によるヒト肝前駆細胞を用いた肝硬変治療	江口 晋	移植・消化器外科学	33,800,000	補 委	日本医療研究開発機構
薬剤耐性菌対策に資する診断法・治療法等の開発研究	柳原 克紀	病態解析・診断学	17,550,000	補 委	日本医療研究開発機構
Semi-dry dot-blot (SDB)法を応用した新規乳癌リンパ節転移診断キット及び自動判定イムノクロマトリーダーの開発・検証	永安 武	腫瘍外科学分野	59,111,000	補 委	日本医療研究開発機構
COVID-19定量的スクリーニング(抗原・抗体検査)検査法の基盤開発	柳原 克紀	病態解析・診断学	10,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
多発性筋炎/皮膚筋炎に伴う進行性フェノタイプを示す間質性肺疾患に対する活性型IL-18特異的中和抗体の開発研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	26,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
洞不全症候群の臨床情報・遺伝学的解析に基づくリスク層別化アルゴリズムの開発	前村 浩二	循環器内科学	130,000	補 委	日本医療研究開発機構
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の対策に資する開発研究	泉川 公一	臨床感染症学	2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	中尾 一彦	消化器内科学	1,170,000	補 委	日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	森内 浩幸	小児科学	962,000	補 委	日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	三浦 清徳	産科婦人科学	481,000	補 委	日本医療研究開発機構
アレルギー性皮膚疾患の病態における発汗異常の解明と治療法の開発	室田 浩之	皮膚病態学	2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覚評価法の研究	熊井 良彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	154,700	補 委	日本医療研究開発機構
HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究	三浦 清徳	産科婦人科学	2,300,000	補 委	日本医療研究開発機構
肝硬変患者のQOLの向上及び予後改善に資する研究	中尾 一彦	消化器内科学	390,000	補 委	日本医療研究開発機構

高解像度3次元イメージングによる特発性後天性全身性無汗症の神経病態解析	室田 浩之	皮膚病態学	1,300,000	補 委	日本医療研究開発機構
侵襲性酵母様真菌感染症に対する疫学研究及び診断・治療法の開発	泉川 公一	臨床感染症学	1,300,000	補 委	日本医療研究開発機構
再生医療等安全性確保法に従い実施される再生医療等臨床研究および再生医療等製品等の開発を目指す医師主導治験等を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの実現	江口 晋	移植・消化器外科学	4,420,000	補 委	日本医療研究開発機構
抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによる母子感染予防法の開発及びHTLV-1抗体医薬品製剤化に関する総合的研究	森内 浩幸	小児科学	650,000	補 委	日本医療研究開発機構
ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究	泉川 公一	臨床感染症学	2,250,000	補 委	日本医療研究開発機構
モニターを用いたじん肺画像診断に関する研究	芦澤 和人	臨床腫瘍	6,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	前村 浩二	循環器内科	200,000	補 委	公益財団法人 日本糖尿病財団
歩行可能なデュシェンヌ型筋ジストロフィー(以下「DMD」という)の自然歴研究	里 龍晴	小児科	660,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
切除不能肝細胞癌に対するレンバチニブ投与中の外科的切除可能性の検討(多施設共同臨床研究)LENS-HCC	江口 晋	移植・消化器外科学	110,000	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
COVID-19に関するレジストリ研究	泉川 公一	臨床感染症学	384,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法・長期予後に関する多施設共同観察研究:POTENT附随研究	松本 恵	乳腺・内分泌外科(第一外科)	71,500	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
血流感染症の患者より分離されたグラム陰性桿菌の微生物学的解析	柳原 克紀	病態解析・診断学	2,681,250	補 委	公益社団法人日本化学療法学会
「住み続けたい」を支える離島・へき地医療サポートモデルの構築	前田 隆浩	総合診療学	4,550,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機関

地域周産期医療体制等の確保の促進に関する調査研究	三浦 清徳	産科婦人科学	11,000,000	補 ⑤委	佐賀県
脳梗塞治療薬の開発-灌流型3次元血液脳関門モデルによる解析-	諸藤 陽一	脳神経外科	2,375,000	補 ⑤委	日本学術振興会
動脈硬化を中心とした生活習慣病関連因子の調査・研究	前田 隆浩	総合診療学	700,000	補 ⑤委	佐々町
A220「HSP47を標的とした肺線維症治療薬の開発」	迎 寛	呼吸器内科学	2,050,000	補 ⑤委	東北大学
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	阿比留 教生	リウマチ・膠原病内科学	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
低身長を伴った思春期早発症症例における遺伝学的原因および臨床像の検討	伊達木 澄人	小児科学	150,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
先行地域における医療福祉・建築連携の仕組みのモデル実証支援	永田 康浩	地域医療学	1,000,000	補 ⑤委	一般社団法人健康・省エネ住宅を推進する国民会議
歯周疾患検診の実施及び評価と佐世保市の歯・口腔の健康づくりに関する研究	齋藤 俊行	口腔保健学	1,000,000	補 ⑤委	佐世保市

計301件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ntita M., Inoue S.-I., Jian J.-Y., 他	免疫学	Type I interferon production elicits differential CD4+ T-cell responses in mice infected with Plasmodium berghei ANKA and P. chabaudi	Int Immunol. 2022 Jan 1;34(1):21-33. doi: 10.1093/intimm/dxab090.	Original Article
2	Chaiyawong N., Ishizaki T., Hakimi H., 他	病原体解析	Distinct effects on the secretion of MTRAP and AMA1 in Plasmodium yoelii following deletion of acylated pleckstrin homology domain-containing protein	Parasitol Int. 2022 Feb;86:102479. doi: 10.1016/j.parint.2021.102479. Epub 2021 Oct 7.	Original Article
3	Liu M., Guo G., Qian P., 他	宿主病態解析	5-methylcytosine modification by Plasmodium NSUN2 stabilizes mRNA and mediates the development of gametocytes	Proc Natl Acad Sci U S A. 2022 Mar 1;119(9):e2110713119. doi: 10.1073/pnas.2110713119.	Original Article
4	El-Shaheny R., Al-Khateeb L.A., El Hamd M.A., 他	薬品分析化学	Correction pen as a hydrophobic/lipophobic barrier plotter integrated with paper-based chips and a mini UV-torch to implement all-in-one device for determination of carbazochrome	Anal Chim Acta. 2021 Aug 8;1172:338684. doi: 10.1016/j.aca.2021.338684. Epub 2021 May 24.	Original Article
5	El-Maghrabey M., Suzuki H., Kishikawa N., 他	薬品分析化学	A sensitive chemiluminescence detection approach for determination of 2,4-dinitrophenylhydrazine derivatized aldehydes using online UV irradiation ? luminol CL reaction. Application to the HPLC analysis of aldehydes in oil samples	Talanta. 2021 Oct 1;233:122522. doi: 10.1016/j.talanta.2021.122522. Epub 2021 May 15.	Original Article

小計5件

6	Tun M.M.N., Kyaw A.K., Nabeshima T., 他	病原体解析	Detection of genotype-1 of dengue virus serotype 3 for the first time and complete genome analysis of dengue viruses during the 2018 epidemic in Mandalay, Upper Myanmar	PLoS One. 2021 Jun 4;16(6):e0251314. doi: 10.1371/journal.pone.0251314. eCollection 2021.	Original Article
7	Tun M.M.N., Morita K., Ishikawa T., 他	病原体解析	The antiviral effect of the chemical compounds targeting ded/edh motifs of the viral proteins on lymphocytic choriomeningitis virus and sars-cov-2	Viruses. 2021 Jun 24;13(7):1220. doi: 10.3390/v13071220.	Original Article
8	Ngwe Tun M.M., Pandey K., Nabeshima T.,他	病原体解析	An Outbreak of Dengue Virus Serotype 2 Cosmopolitan Genotype in Nepal, 2017	Viruses. 2021 Jul 24;13(8):1444. doi: 10.3390/v13081444.	Original Article
9	Ngwe Tun M.M., Mori D., Sabri S.B., 他	病原体解析	Serological Evidence of Zika Virus Infection in Febrile Patients and Healthy Blood Donors in Sabah, Malaysian Borneo, 2017-2018	Am J Trop Med Hyg. 2021 Nov 22;106(2):601-606. doi: 10.4269/ajtmh.21-0802.	Original Article
10	Ngwe Tun M.M., Toume K., Luvai E., 他	病原体解析	The discovery of herbal drugs and natural compounds as inhibitors of SARS-CoV-2 infection in vitro	J Nat Med. 2022 Mar;76(2):402-409. doi: 10.1007/s11418-021-01596-w. Epub 2022 Jan 10.	Original Article
11	Yang H., Lu Z.-C., Attin T., 他	口腔インプラント学	Erosion of CAD/CAM restorative materials and human enamel: An in vitro study	J Mech Behav Biomed Mater. 2021 Jul;119:104503. doi: 10.1016/j.jmbbm.2021.104503. Epub 2021 Apr 3.	Original Article
12	Khan K.N., Fujishita A., Kitajima M., 他	展開医療科学講座	Decreased occurrence of endometriosis in women with Chlamydia trachomatis infection	Am J Reprod Immunol. 2021 Dec;86(6):e13498. doi: 10.1111/aji.13498. Epub 2021 Sep 23.	Original Article

小計7件



13	Valanezhad A., Odatsu T., Abe S., 他	生体材料学	Bone formation ability and cell viability enhancement of mc3t3-e1 cells by ferrostatin-1 a ferroptosis inhibitor of cancer cells	Int J Mol Sci. 2021 Nov 12;22(22):12259. doi: 10.3390/ijms222212259.	Original Article
14	Abe H., Ushijima Y., Bikangui R.,他	病原体解析	Unrecognized introduction of SARS-CoV-2 variants of concern to Central Africa: Import and local transmission of B.1.1.7 in Gabon in the very early stage of the variant spread to the African continent	J Med Virol. 2021 Oct;93(10):6054-6058. doi: 10.1002/jmv.27164. Epub 2021 Jul 9.	Original Article
15	Ashida M., Koga T., Morimoto S., 他	皮膚科・アレルギー科	Evaluation of sweating responses in patients with collagen disease using the quantitative sudomotor axon reflex test (QSART): A study protocol for an investigator-initiated, prospective, observational clinical study	BMJ Open. 2021 Oct 27;11(10):e050690. doi: 10.1136/bmjopen-2021-050690.	Original Article
16	Ashizawa H., Yamamoto K., Ashizawa N., 他	感染制御教育センター	Associations between Chest CT Abnormalities and Clinical Features in Patients with the Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome	Viruses. 2022 Jan 28;14(2):279. doi: 10.3390/v14020279.	Original Article
17	Ito H., Yamamoto T., Morita S.	環境医学	The effect of men who have sex with men (MSM) on the spread of sexually transmitted infections	Theor Biol Med Model. 2021 Oct 11;18(1):18. doi: 10.1186/s12976-021-00148-9.	Original Article
18	Endo Y., Koga T., Otaki H., 他	臨床研究センター	Systemic lupus erythematosus overlapping dermatomyositis owing to a heterozygous TRES1 Asp130Asn missense mutation	Clin Immunol. 2021 Jun;227:108732. doi: 10.1016/j.clim.2021.108732. Epub 2021 Apr 21.	Original Article
19	Endo Y., Koga T., Ubara Y., 他	臨床研究センター	Mediterranean fever gene variants modify clinical phenotypes of idiopathic multi-centric Castleman disease	Clin Exp Immunol. 2021 Oct;206(1):91-98. doi: 10.1111/cei.13632. Epub 2021 Jul 26.	Original Article

小計7件

20	Endo Y., Kawashiri S.- Y., Nishino A., 他	臨床研究センター	Ultrasound efficacy of targeted-synthetic disease-modifying anti-rheumatic drug treatment in rheumatoid arthritis: a multicenter prospective cohort study in Japan	Scand J Rheumatol. 2022 Jul;51(4):259-267. doi: 10.1080/03009742.2021.1927389. Epub 2021 Sep 2.	Original Article
21	Shiwaku H., Sato H., Shimamura Y., 他	地域医療支援センター	Risk factors and long-term course of gastroesophageal reflux disease after peroral endoscopic myotomy: A large-scale multicenter cohort study in Japan	Endoscopy. 2022 Feb 16. doi: 10.1055/a-1753-9801. Online ahead of print.	Original Article
22	Okazaki N., Chiba K., Burghardt A.J., 他	整形外科	Differences in bone mineral density and morphometry measurements by fixed versus relative offset methods in high-resolution peripheral quantitative computed tomography	Bone. 2021 Aug;149:115973. doi: 10.1016/j.bone.2021.115973. Epub 2021 Apr 22.	Original Article
23	Kawano H., Kawamura K., Kanda M., 他	循環器内科学	Histopathological changes of myocytes in restrictive cardiomyopathy	Med Mol Morphol. 2021 Sep;54(3):289-295. doi: 10.1007/s00795-021-00293-7. Epub 2021 May 31.	Original Article
24	Minakawa N., Kongere J.O., Sonye G.O.,他	環境医学	Long-lasting insecticidal nets incorporating piperonyl butoxide reduce the risk of malaria in children in Western Kenya: A cluster randomized controlled trial	Am J Trop Med Hyg. 2021 Jun 14;105(2):461-471. doi: 10.4269/ajtmh.20-1069.	Original Article
25	Kashiyama K., Hirano A.	形成再建外科学	Pseudoaneurysm of the Maxillary Artery with Prebleeding Warning Signs after Le Fort I Osteotomy	J Craniofac Surg. 2021 Nov-Dec 01;32(8):e742-e744. doi: 10.1097/SCS.0000000000007765.	Original Article
26	Kashiyama K., Nakano M., Higashi A., 他	形成再建外科学	Distal nail embedding treatment using autogenous nails	Dermatol Ther. 2021 Nov;34(6):e15163. doi: 10.1111/dth.15163. Epub 2021 Oct 25.	Original Article

小計7件

27	Iwanaga A., Utani A., Koike Y., 他	皮膚病態学	Clinical practice guidelines for pseudoxanthoma elasticum (2017): Clinical Practice Guidelines for Pseudoxanthoma Elasticum Drafting Committee	J Dermatol. 2022 Mar;49(3):e91-e98. doi: 10.1111/1346-8138.16301. Epub 2022 Jan 12.	Original Article
28	Iwamoto N., Sato S., Kurushima S., 他	リウマチ・膠原病内科	Real-world comparative effectiveness and safety of tofacitinib and baricitinib in patients with rheumatoid arthritis	Arthritis Res Ther. 2021 Jul 23;23(1):197. doi: 10.1186/s13075-021-02582-z.	Original Article
29	Iwamoto N., Furukawa K., Endo Y., 他	リウマチ・膠原病内科	Methotrexate alters the expression of microrna in fibroblast-like synovial cells in rheumatoid arthritis	Int J Mol Sci. 2021 Oct 26;22(21):11561. doi: 10.3390/ijms222111561.	Original Article
30	Yoshimoto-Haramura T., Hidaka M., Hasegawa K., 他	大腸・肛門外科(第二外科)	National survey of hepatobiliary and pancreatic surgery in hemophilia patients in Japan	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022 Mar;29(3):385-393. doi: 10.1002/jhbp.1073. Epub 2021 Nov 17.	Original Article
31	Yoshimura S., Nakagawa S., Takahashi T., 他	脳神経内科	FTY720 Exacerbates Blood?Brain Barrier Dysfunction Induced by IgG Derived from Patients with NMO and MOG Disease	Neurotox Res. 2021 Aug;39(4):1300-1309. doi: 10.1007/s12640-021-00373-7. Epub 2021 May 17.	Original Article
32	Yoshida S., Yamamoto A., Masumoto H., 他	衛生化学	Peptidyl-prolyl cis?trans isomerase A participates in the selenium transport into the rat brain	J Biol Inorg Chem. 2021 Dec;26(8):933-945. doi: 10.1007/s00775-021-01903-6. Epub 2021 Sep 22.	Original Article
33	Kuba S., Watanabe K., Chiba K., 他	乳腺・内分泌外科(第二外科)	Adjuvant endocrine therapy effects on bone mineral density and microstructure in women with breast cancer	J Bone Miner Metab. 2021 Nov;39(6):1031-1040. doi: 10.1007/s00774-021-01239-w. Epub 2021 Jun 30.	Original Article

小計7件

34	Miyazaki S., Chitama B.- Y.A., Kagaya W., 他	シオノグロブール感染症連携	Plasmodium falciparum SURFIN4.1 forms an intermediate complex with PTEX components and Pf113 during export to the red blood cell	Parasitol Int. 2021 Aug;83:102358. doi: 10.1016/j.parint.2021.102358. Epub 2021 Apr 24.	Original Article
35	Miyazaki T., Saji H., Nakamura H., 他	呼吸器外科(第一外科)	The C-reactive protein to albumin ratio is a prognostic factor for stage I non-small cell lung cancer in elderly patients: JACS1303	Surg Today. 2022 Feb 24. doi: 10.1007/s00595-022-02485-9. Online ahead of print.	Original Article
36	Miyata Y., Tsurusaki T., Hayashida Y., 他	泌尿器科学	Intravesical mitomycin C (MMC) and MMC+cytosine arabinoside for non-muscle-invasive bladder cancer: a randomised clinical trial	BJU Int. 2022 Apr;129(4):534-541. doi: 10.1111/bju.15571. Epub 2021 Aug 24.	Original Article
37	Miyata Y., Masato M., Mukae Y., 他	泌尿器科学	Pathological roles of prostaglandin e2-specific e-type prostanoid receptors in hormone-sensitive and castration-resistant prostate cancer	Anticancer Res. 2021 Sep;41(9):4333-4341. doi: 10.21873/anticanres.15238.	Original Article
38	Sato K., Naya M., Hatano Y., 他	フロンティア口腔科学	Biofilm spreading by the adhesin-dependent gliding motility of flavobacterium johnsoniae: 2. role of filamentous extracellular network and cell-to-cell connections at the biofilm surface	Int J Mol Sci. 2021 Jun 27;22(13):6911. doi: 10.3390/ijms22136911.	Original Article
39	Kuwatsuka S., Koike Y., Kuwatsuka Y., 他	皮膚科・アレルギー科	Claudin-7 in keratinocytes is downregulated by the inhibition of HMG-CoA reductase and is highly expressed in the stratum granulosum of the psoriatic epidermis	J Dermatol Sci. 2021 Nov;104(2):132-137. doi: 10.1016/j.jdermsci.2021.10.002. Epub 2021 Oct 14.	Original Article
40	Haraguchi M., Miyaaki H., Nakamura Y., 他	消化器内科学	Assessment of the association between dysphagia and sarcopenia among elderly patients with cirrhosis: Usefulness of the finger-ring test	Arch Gerontol Geriatr. 2021 Jul-Aug;95:104430. doi: 10.1016/j.archger.2021.104430. Epub 2021 May 8.	Original Article

小計7件

41	Harada S., Nakashima Y., Uematsu M., 他	眼科	Effectiveness of a photoscreener in identifying undiagnosed unilateral amblyopia at vision screening of 3- year-old children in Japan	Jpn J Ophthalmol. 2022 Mar;66(2):193-198. doi: 10.1007/s10384-021-00896- 8. Epub 2022 Jan 19.	Original Article
42	Koga T., Furukawa K., Migita K., 他	分子標的医学研究センター	Granulocyte- macrophage colony- stimulating factor and tumor necrosis factor- $\alpha$ in combination is a useful diagnostic biomarker to distinguish familial Mediterranean fever from sepsis	Arthritis Res Ther. 2021 Oct 15;23(1):260. doi: 10.1186/s13075-021-02644- 2.	Original Article
43	Yang C., Sunahara T., Hu J., 他	分子硬組織生物学	Searching for a sign of exotic <i>Aedes albopictus</i> (Culicidae) introduction in major international seaports on Kyushu Island, Japan	PLoS Negl Trop Dis. 2021 Oct 6;15(10):e0009827. doi: 10.1371/journal.pntd.000982 7. eCollection 2021 Oct.	Original Article
44	Eguchi S., Uchida K., Takatsuki M., 他	移植・消化器外科学	Anti-Donor Regulatory T-Cell Therapy in Adult-to-Adult Living Donor Liver Transplantation: A Case Report	Transplant Proc. 2021 Oct;53(8):2570-2575. doi: 10.1016/j.transproceed.2021 .08.026. Epub 2021 Sep 10.	Original Article
45	Araki H., Sekino M., Iwasaki N., 他	集中治療部	Absent right superior vena cava with persistent left superior vena cava in a patient with COVID-19	J Artif Organs. 2022 Jun;25(2):170-173. doi: 10.1007/s10047-021-01290- 4. Epub 2021 Aug 16.	Original Article
46	Takazono T., Mukae H., Izumikawa K., 他	臨床感染症学	Empirical antibiotic usage and bacterial superinfections in patients with COVID- 19 in Japan: A nationwide survey by the Japanese Respiratory Society	Respir Investig. 2022 Jan;60(1):154-157. doi: 10.1016/j.resinv.2021.09.004 . Epub 2021 Oct 7.	Original Article
47	Takagi Y., Sasaki M., Eida S., 他	口腔診断・情報科学	Comparison of salivary gland MRI and ultrasonography findings among patients with Sjögren's syndrome over a wide age range	Rheumatology (Oxford). 2022 May 5;61(5):1986-1996. doi: 10.1093/rheumatology/keab5 60.	Original Article

小計7件

48	Kurosaki T., Katafuchi Y., Hashizume J., 他	実践薬学	Induction of mucosal immunity by pulmonary administration of a cell-targeting nanoparticle	Drug Deliv. 2021 Dec;28(1):1585-1593. doi: 10.1080/10717544.2021.1955040.	Original Article
49	Kurohama H., Matsuda K., Kishino M., 他	病理診断科・病理部	Comprehensive analysis for detecting radiation-specific molecules expressed during radiation-induced rat thyroid carcinogenesis	J Radiat Res. 2021 May 5;62(Supplement_1):i78-i87. doi: 10.1093/jrr/rraa139.	Original Article
50	Imamura H., Adachi T., Tanaka T., 他	肝胆膵外科・肝移植外科(第二外科)	Feasibility and Safety of Laparoscopic Gallbladder Resection for Gallbladder Tumours	Anticancer Res. 2022 Feb;42(2):903-910. doi: 10.21873/anticancerres.15548.	Original Article
51	Sasaki R., Fukushima M., Haraguchi M., 他	消化器内科	Liver function in older patients with unresectable hepatocellular carcinoma after administration of lenvatinib	Anticancer Res. 2021 Apr;41(4):2025-2032. doi: 10.21873/anticancerres.14970.	Original Article
52	Satoh C., Toizumi M., Nguyen H.A.T., 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Prevalence and characteristics of children with otitis media with effusion in Vietnam	Vaccine. 2021 May 6;39(19):2613-2619. doi: 10.1016/j.vaccine.2021.03.094. Epub 2021 Apr 13.	Original Article
53	Sakamoto N., Hamada N., Okamoto M., 他	呼吸器内科学	Efficacy and safety of nintedanib in Japanese patients with early-stage idiopathic pulmonary fibrosis: a study protocol for an observational study	BMJ Open. 2021 Jun 29;11(6):e047249. doi: 10.1136/bmjopen-2020-047249.	Original Article
54	Sakamoto N., Ishimoto H., Tahara M., 他	呼吸器内科学	HLA-B54 is an independent risk factor for pneumonia in Japanese patients with interstitial lung disease: A multicenter retrospective cohort study	Respir Med. 2021 Nov;188:106612. doi: 10.1016/j.rmed.2021.106612. Epub 2021 Sep 16.	Original Article

小計7件

55	Mitsui Y., Miura M., Kato K.,他	病原体解析	Chemotactic responses of <i>Brugia pahangi</i> infective third-stage larvae to tris(hydroxymethyl)aminomethane-related compounds and amino acids	J Helminthol. 2021 Dec 9;95:e72. doi: 10.1017/S0022149X21000705.	Original Article
56	Yamashita H., Murase T., Kondo H., 他	歯科法医学	Development of age-estimation formula using postmortem oral findings: A pilot study	Leg Med (Tokyo). 2022 Feb;54:101973. doi: 10.1016/j.legalmed.2021.101973. Epub 2021 Oct 7.	Original Article
57	Yamaguchi T., Taira Y., Matsuo M., 他	放射線リスク制御	LOCAL LEVELS of RADIATION EXPOSURE DOSES DUE to RADIOCESIUM for RETURNED RESIDENTS in TOMIOKA TOWN, FUKUSHIMA PREFECTURE	Radiat Prot Dosimetry. 2021 May 17;193(3-4):207-220. doi: 10.1093/rpd/ncab049.	Original Article
58	Yamaguchi H., Wakuda K., Fukuda M., 他	がん診療センター	A Phase II Study of Osimertinib for Radiotherapy-Naive Central Nervous System Metastasis From NSCLC: Results for the T790M Cohort of the OCEAN Study (LOGIK1603/WJOG9116L)	J Thorac Oncol. 2021 Dec;16(12):2121-2132. doi: 10.1016/j.jtho.2021.07.026. Epub 2021 Aug 19.	Original Article
59	Yamada K., Oishi A., Kusano M., 他	眼科	Effect of inverted internal limiting membrane flap technique on small-medium size macular holes	Sci Rep. 2022 Jan 14;12(1):731. doi: 10.1038/s41598-021-04739-x.	Original Article
60	Yamamoto K., Hosogaya N., Sakamoto N., 他	呼吸器内科	Efficacy of clarithromycin in patients with mild COVID-19 pneumonia not receiving oxygen administration: Protocol for an exploratory, multicentre, open-label, randomised controlled trial (CAME COVID-19 study)	BMJ Open. 2021 Sep 21;11(9):e053325. doi: 10.1136/bmjopen-2021-053325.	Original Article

小計6件

61	Terashima H., Hori K., Ihara K., 他	病原体解析	Mutations in the stator protein PomA affect switching of rotational direction in bacterial flagellar motor	Sci Rep. 2022 Feb 22;12(1):2979. doi: 10.1038/s41598-022-06947- 5.	Original Article
62	Nanashima A., Tanoue Y., Sakae T., 他	展開医療科学講座	Relationship between hepatic venous anatomy and hepatic venous blood loss during hepatectomy	Surg Today. 2021 Dec;51(12):1953-1968. doi: 10.1007/s00595-021-02314- 5. Epub 2021 Jun 15.	Original Article
63	Murota H., Fujimoto T., Oshima Y.,他	皮膚病態学	Cost-of-illness study for axillary hyperhidrosis in Japan	J Dermatol. 2021 Oct;48(10):1482-1490. doi: 10.1111/1346-8138.16050. Epub 2021 Jul 9.	Original Article
64	Murota H., Koike Y., Ishii K.,他	皮膚病態学	Evaluating the burden of pruritus due to atopic dermatitis in Japan by patient- reported outcomes	J Med Econ. 2021 Jan- Dec;24(1):1280-1289. doi: 10.1080/13696998.2021.200 2559.	Original Article
65	Shibata T., Shimamura R., Yamamoto Y., 他	機能性分子化学	A facile method for the quantification of urinary uracil concentration by a uracil-specific fluorescence derivatization reaction	Chem Pharm Bull (Tokyo). 2021;69(8):768-772. doi: 10.1248/cpb.c21-00221.	Original Article
66	Shigeno R., Horie I., Miwa M., 他	内分泌・代謝内科	Bihormonal dysregulation of insulin and glucagon contributes to glucose intolerance development at one year post- delivery in women with gestational diabetes: A prospective cohort study using an early postpartum 75-g glucose tolerance test	Endocr J. 2021 Aug 28;68(8):919-931. doi: 10.1507/endocrj.EJ20-0795. Epub 2021 Apr 6.	Original Article
67	Koseki H., Sunagawa S., Noguchi C., 他	保健科学	Incidence of and risk factors for hip fracture in Nagasaki, Japan from 2005 to 2014	Arch Osteoporos. 2021 Jul 10;16(1):111. doi: 10.1007/s11657-021-00978- 7.	Original Article

小計7件



68	Koike H., Sueyoshi E., Nishimura T., 他	放射線科	Effect of Balloon Pulmonary Angioplasty on Homogenization of Lung Perfusion Blood Volume by Dual-Energy Computed Tomography in Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Lung. 2021 Oct;199(5):475-483. doi: 10.1007/s00408-021-00471-5. Epub 2021 Aug 30.	Original Article
69	Koike H., Morikawa M., Ideguchi R.,他	放射線科	Amide proton transfer and chemical exchange saturation transfer MRI differentiates between growing and non-growing intracranial meningiomas: a pilot study	Clin Radiol. 2022 Apr;77(4):e295-e301. doi: 10.1016/j.crad.2021.12.017. Epub 2022 Jan 26.	Original Article
70	Komine K., Ninomiya R., Fukuda H.,他	薬品製造化学	A Stereoselective Synthesis of Fused Carbocycles with a cis-1,2-Diol Moiety by Desymmetrization: SmI <sub>2</sub> -Mediated Pinacol Coupling of meso-Cyclic 1,3-Diones	Chem Pharm Bull (Tokyo). 2022 Jan 1;70(1):89-93. doi: 10.1248/cpb.c21-00837. Epub 2021 Nov 2.	Original Article
71	Matsunaga H., Halder S.K., Ueda H.	医科薬理学	Annexin a2 flop-out mediates the non-vesicular release of damp/alarmins from c6 glioma cells induced by serum-free conditions	Cells. 2021 Mar 5;10(3):567. doi: 10.3390/cells10030567.	Original Article
72	Matsunaga H., Orita M., Taira Y., 他	放射線リスク制御	Risk perception of the pre-distribution of stable iodine to guardians of children living around the Genkai Nuclear Power Plant, Saga Prefecture, Japan	PLoS One. 2021 May 13;16(5):e0250570. doi: 10.1371/journal.pone.0250570. eCollection 2021.	Original Article
73	Matsunaga H., Orita M., Taira Y., 他	放射線リスク制御	Awareness of the implementation of stable iodine prophylaxis by parental guardians living in the urgent protective action planning zone of an operating nuclear power plant in Japan	BMC Public Health. 2021 Dec 8;21(1):2235. doi: 10.1186/s12889-021-12349-5.	Original Article

小計6件

74	Matsunaga H., Orita M., Liu M., 他	放射線リスク制御	Evaluation of Residents' Timing of Return to or New Settlement in Kawauchi Village, at 10 Years after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident	Int J Environ Res Public Health. 2022 Jan 4;19(1):543. doi: 10.3390/ijerph19010543.	Original Article
75	Matsunaga H., Orita M., Liu M., 他	放射線リスク制御	Life satisfaction and factors affecting satisfaction in kawauchi village residents at 10 y after the fukushima daiichi nuclear power plant accident	Radiat Prot Dosimetry. 2022 Feb 18;198(1-2):23-30. doi: 10.1093/rpd/ncab186.	Original Article
76	Matsuu- Matsuyama M., Shichijo K., Matsuda K., 他	附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター	Age-dependent effects on radiation-induced carcinogenesis in the rat thyroid	Sci Rep. 2021 Sep 27;11(1):19096. doi: 10.1038/s41598-021-98481-z.	Original Article
77	Matsushima H., Morita-Nakagawa M., Datta S., 他	肝胆膵外科・肝移植外科(第二外科)	Blockade or deficiency of PD-L1 expression in intestinal allograft accelerates graft tissue injury in mice	Am J Transplant. 2022 Mar;22(3):955-965. doi: 10.1111/ajt.16873. Epub 2021 Nov 3.	Original Article
78	Kido T., Ishimoto H., Ishii H., 他	呼吸器内科	Combined detection of lymphocyte clonality and MALT1 translocations in bronchoalveolar lavage fluid for diagnosing pulmonary lymphomas	Sci Rep. 2021 Dec 6;11(1):23430. doi: 10.1038/s41598-021-02861-4.	Original Article
79	Shingai K., Matsuda T., Kondoh Y., 他	理学療法学	Cutoff Points for Step Count to Predict 1-year All-Cause Mortality in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis	Respiration. 2021;100(12):1151-1157. doi: 10.1159/000517030. Epub 2021 Jul 9.	Original Article
80	Niino D., Hanh L.T.M., Miura S., 他	病理診断科・病理部	Incidence patterns of sequential or composite lymphoma: A population-based cancer registry study	Tohoku J Exp Med. 2021 Jun;254(2):123-127. doi: 10.1620/tjem.254.123.	Original Article

小計7件

81	Fukahori S., Obase Y., Fukushima C., 他	呼吸器内科	Determining response to treatment for drug-induced bronchocentric granulomatosis by the forced oscillation technique	Medicina (Kaunas). 2021 Nov 30;57(12):1315. doi: 10.3390/medicina57121315.	Original Article
82	Mizukami S., Arima K., Abe Y., 他	公衆衛生学	Association between fat mass by bioelectrical impedance analysis and bone mass by quantitative ultrasound in relation to grip strength and serum 25-hydroxyvitamin D in postmenopausal Japanese women: the Unzen study	J Physiol Anthropol. 2022 Mar 9;41(1):7. doi: 10.1186/s40101-022-00281-5.	Original Article
83	Mizuta S., Otaki H., Ishikawa T., 他	分子標的医学研究センター	Lead Optimization of Influenza Virus RNA Polymerase Inhibitors Targeting PA-PB1 Interaction	J Med Chem. 2022 Jan 13;65(1):369-385. doi: 10.1021/acs.jmedchem.1c01527. Epub 2021 Dec 14.	Original Article
84	Shimizu T., Kawashiri S.-Y., Sato S., 他	臨床研究センター	Discontinuation of methotrexate in rheumatoid arthritis patients achieving clinical remission by treatment with upadacitinib plus methotrexate (DOPPLER study) : A study protocol for an interventional, multicenter, open-label and single-arm clinical trial with clinical, ultrasound and biomarker assessments	Medicine (Baltimore). 2022 Jan 14;101(2):e28463. doi: 10.1097/MD.00000000000028463.	Original Article
85	Shimizu Y., Kawashiri S.-Y., Nobusue K., 他	社会医療科学講座	Associations between handgrip strength and hypertension in relation to circulating CD34-positive cell levels among Japanese older men: a cross-sectional study	Environ Health Prev Med. 2021 Jun 4;26(1):62. doi: 10.1186/s12199-021-00982-w.	Original Article
86	Shimizu Y., Kawashiri S.-Y., Noguchi Y., 他	社会医療科学講座	HbA1c is inversely associated with thyroid cysts in a euthyroid population: A crosssectional study	PLoS One. 2021 Jun 30;16(6):e0253841. doi: 10.1371/journal.pone.0253841. eCollection 2021.	Original Article

小計6件

87	Shimizu Y., Kawashiri S.- Y., Noguchi Y., 他	社会医療科学講座	Association between thyroid cysts and hypertension by atherosclerosis status: a cross-sectional study	Sci Rep. 2021 Jul 6;11(1):13922. doi: 10.1038/s41598-021-92970- x.	Original Article
88	Shimizu Y., Kawashiri S.- Y., Arima K., 他	社会医療科学講座	Association between height-related polymorphism rs17081935 and reduced handgrip strength in relation to status of atherosclerosis: a cross-sectional study	Environ Health Prev Med. 2021 Aug 26;26(1):83. doi: 10.1186/s12199-021-01000- 9.	Original Article
89	Shimizu Y., Nabeshima- Kimura Y., Kawashiri S.- Y., 他	社会医療科学講座	Association between thyroid-stimulating hormone (TSH) and proteinuria in relation to thyroid cyst in a euthyroid general population	J Physiol Anthropol. 2021 Oct 9;40(1):15. doi: 10.1186/s40101-021-00264- y.	Original Article
90	Aoyama S., Kim H.-K., Hirooka R., 他	神経機能学	Distribution of dietary protein intake in daily meals influences skeletal muscle hypertrophy via the muscle clock	Cell Rep. 2021 Jul 6;36(1):109336. doi: 10.1016/j.celrep.2021.10933 6.	Original Article
91	Ishizaki H., Murata H., Maekawa T., 他	麻酔集中治療医学	Successful vaginal delivery in a parturient with long QT syndrome type 2 using double- catheter epidural analgesia A CARE- compliant case report	Medicine (Baltimore). 2021 Nov 24;100(47):e27790. doi: 10.1097/MD.00000000000027 790.	Original Article
92	Ishizaki T., Asada M., Hakimi H., 他	病原体解析	cAMP-dependent protein kinase regulates secretion of apical membrane antigen 1 (AMA1) in Plasmodium yoelii	Parasitol Int. 2021 Dec;85:102435. doi: 10.1016/j.parint.2021.10243 5. Epub 2021 Aug 11.	Original Article
93	Akashi R., Koga S., Yonekura T., 他	循環器内科	Cardio-ankle vascular index is associated with coronary plaque composition assessed with iMAP-intravascular ultrasound in patients with coronary artery disease	J Cardiol. 2021 Dec;78(6):502-508. doi: 10.1016/j.jjcc.2021.05.015. Epub 2021 Jul 17.	Original Article

小計7件

94	Akazawa Y., Morisaki T., Fukuda H., 他	附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター	Significance of serum palmitoleic acid levels in inflammatory bowel disease	Sci Rep. 2021 Aug 10;11(1):16260. doi: 10.1038/s41598-021-95923-6.	Original Article
95	Kawashita Y., Kitamura M., Soutome S., 他	口腔保健学	Association of neutrophil-to-lymphocyte ratio with severe radiation-induced mucositis in pharyngeal or laryngeal cancer patients: a retrospective study	BMC Cancer. 2021 Sep 28;21(1):1064. doi: 10.1186/s12885-021-08793-6.	Original Article
96	Kawashiri S.- Y., Endo Y., Nishino A., 他	地域医療学	Association between serum bone biomarker levels and therapeutic response to abatacept in patients with rheumatoid arthritis (RA): a multicenter, prospective, and observational RA ultrasound cohort study in Japan	BMC Musculoskelet Disord. 2021 Jun 1;22(1):506. doi: 10.1186/s12891-021-04392-5.	Original Article
97	Kawashiri S.- Y., Endo Y., Nishino A., 他	地域医療学	Effect of abatacept treatment on serum osteoclast-related biomarkers in patients with rheumatoid arthritis (RA): A multicenter RA ultrasound prospective cohort in Japan	Medicine (Baltimore). 2021 Jul 16;100(28):e26592. doi: 10.1097/MD.00000000000026592.	Original Article
98	Kawashiri S.- Y., Sumiyoshi R., Kawakami A.	地域医療学	Musculoskeletal Ultrasound Manifestation of Osteoarthropathy in EMO Syndrome	Intern Med. 2022 Jan 15;61(2):273-274. doi: 10.2169/internalmedicine.7106-21. Epub 2021 Jul 30.	Original Article
99	Izumida M., Hayashi H., Smith C., 他	臨床研究	Antivirus activity, but not thiolreductase activity, is conserved in interferon-gamma-inducible GILT protein in arthropod	Mol Immunol. 2021 Dec;140:240-249. doi: 10.1016/j.molimm.2021.10.018. Epub 2021 Nov 10.	Original Article

小計6件

100	Ota K., Yanagihara K., Sasaki D., 他	臨床検査科	Detection of SARS-CoV-2 using qRT-PCR in saliva obtained from asymptomatic or mild COVID-19 patients, comparative analysis with matched nasopharyngeal samples	PLoS One. 2021 Jun 10;16(6):e0252964. doi: 10.1371/journal.pone.0252964. eCollection 2021.	Original Article
101	Ota Y., Obata Y., Takazono T., 他	腎臓内科	Association between potassium supplementation and the occurrence of acute kidney injury in patients with hypokalemia administered liposomal amphotericin B: a nationwide observational study	BMC Nephrol. 2021 Jun 30;22(1):240. doi: 10.1186/s12882-021-02450-7.	Original Article
102	Oyama Y., Abiru N., Kit A., 他	看護実践科学	Thoughts and attitudes toward disasters among Japanese patients with type 1 diabetes: A qualitative descriptive study	Jpn J Nurs Sci. 2022 Apr;19(2):e12459. doi: 10.1111/jjns.12459. Epub 2021 Oct 18.	Original Article
103	Ohba S., Shido R., Asahina I.	顎口腔再生外科学	Application of hydroxyapatite/collagen composite material for maxillary sinus floor augmentation	J Oral Sci. 2021;63(3):295-297. doi: 10.2334/josnurd.21-0163.	Original Article
104	Ohnita K., Higashi S., Hirai S., 他	光学医療診療部	Esophageal metastasis of renal cell carcinoma resected by endoscopic submucosal dissection: a case report	BMC Gastroenterol. 2021 Sep 20;21(1):348. doi: 10.1186/s12876-021-01925-z.	Original Article
105	Otsuru M., Soutome S., Hayashida S., 他	口腔外科	Imaging findings and treatment outcomes of a rare subtype of medication-related osteonecrosis of the jaw	J Bone Miner Metab. 2022 Jan;40(1):150-156. doi: 10.1007/s00774-021-01267-6. Epub 2021 Sep 12.	Original Article
106	Ohba K., Miyata Y., Mukae Y., 他	泌尿器科・腎移植外科	Efficacy of propiverine hydrochloride for urinary incontinence after robot-assisted or laparoscopic radical prostatectomy	Can J Urol. 2021 Jun;28(3):10706-10712.	Original Article

小計7件

107	Ohba K., Miyata Y., Shinzato T., 他	泌尿器科・腎移植外科	Effect of oral intake of royal jelly on endothelium function in hemodialysis patients: study protocol for multicenter, double-blind, randomized control trial	Trials. 2021 Dec 20;22(1):950. doi: 10.1186/s13063-021-05926-x.	Original Article
108	Ohba K., Miyata Y., Mitsunari K., 他	泌尿器科・腎移植外科	Alternative Treatment with Every-Other-Day Dosing of Sunitinib for Metastatic Renal Cell Carcinoma: Extended Follow-Up	Urol Int. 2022;106(6):623-629. doi: 10.1159/000520652. Epub 2022 Jan 19.	Original Article
109	Oki N., Ikebe Y., Koike H., 他	放射線科	FDG-PET vs. chemical shift MR imaging in differentiating intertrabecular metastasis from hematopoietic bone marrow hyperplasia	Jpn J Radiol. 2021 Nov;39(11):1077-1085. doi: 10.1007/s11604-021-01149-x. Epub 2021 Jun 8.	Original Article
110	Taniguchi D., Watanabe H., Morinaga Y., 他	呼吸器外科(第一外科)	Safety, efficacy, and analysis of key parameters after prophylactic administration of a sustained-release formulation of azithromycin in lung cancer surgery	Ann Palliat Med. 2021 May;10(5):5098-5107. doi: 10.21037/apm-21-383. Epub 2021 Apr 8.	Original Article
111	Takenaka M., Murota H., Nishimoto K.	皮膚病態学	Chronological evaluation of treatment effect for tinea unguium with efinaconazole: Possibility of an early estimation of treatment effects	J Dermatol. 2021 Dec;48(12):1923-1925. doi: 10.1111/1346-8138.16133. Epub 2021 Sep 2.	Original Article
112	Takemoto S., Akagi K., Ono S., 他	呼吸器内科	Efficacy of S-1 after pemetrexed in patients with non-small cell lung cancer: A retrospective multi-institutional analysis	Thorac Cancer. 2021 Sep;12(17):2300-2306. doi: 10.1111/1759-7714.14055. Epub 2021 Jul 13.	Original Article

小計6件

113	Nakayama M., Naito M., Omori K., 他	口腔病原微生物学	Porphyromonas gingivalis Gingipains Induce Cyclooxygenase-2 Expression and Prostaglandin E2 Production via ERK1/2-Activated AP- 1 (c-Jun/c-Fos) and IKK/NF- $\kappa$ B p65 Cascades	J Immunol. 2022 Mar 1;208(5):1146-1154. doi: 10.4049/jimmunol.2100866. Epub 2022 Feb 2.	Original Article
114	Nakamura H., Morimoto S., Shimizu T., 他	リウマチ・膠原病内科	Clinical manifestations in anti-Ro52/SS-A antibody-seropositive patients with Sjögren's syndrome	Immunol Med. 2021 Dec;44(4):252-262. doi: 10.1080/25785826.2021.191 9342. Epub 2021 May 14.	Original Article
115	Nakao Y., Amrollahi P., Parthasarathy G., 他	消化器内科学	Circulating extracellular vesicles are a biomarker for NAFLD resolution and response to weight loss surgery	Nanomedicine. 2021 Aug;36:102430. doi: 10.1016/j.nano.2021.102430. Epub 2021 Jun 24.	Original Article
116	Nakashiki S., Miuma S., Mishima H., 他	消化器内科	Bile extracellular vesicles from end-stage liver disease patients show altered microRNA content	Hepato Int. 2021 Jun;15(3):821-830. doi: 10.1007/s12072-021-10196- 5. Epub 2021 Jun 2.	Original Article
117	Torigoe K., Muta K., Tsuji K., 他	腎臓内科	Association of urinary DICKKOPF-3 with residual renal function decline in patients undergoing peritoneal dialysis	Medicina (Kaunas). 2021 Jun 18;57(6):631. doi: 10.3390/medicina57060631.	Original Article
118	Tsukahara T., Hara H., Haniu H., 他	創薬薬理学	The combined effects of lysophospholipids against lipopolysaccharide- induced inflammation and oxidative stress in microglial cells	J Oleo Sci. 2021 Jul 1;70(7):947-954. doi: 10.5650/jos.ess21069. Epub 2021 Jun 11.	Original Article
119	Tsuji K., Kitamura M., Chiba K., 他	腎臓内科	Comparison of bone microstructures via high-resolution peripheral quantitative computed tomography in patients with different stages of chronic kidney disease before and after starting hemodialysis	Ren Fail. 2022 Dec;44(1):381-391. doi: 10.1080/0886022X.2022.204 3375.	Original Article

小計7件



120	Tashiro M., Takazono T., Ota Y., 他	臨床感染症学	Efficacy of early administration of liposomal amphotericin B in patients with septic shock: A nationwide observational study	J Infect Chemother. 2021 Oct;27(10):1471-1476. doi: 10.1016/j.jiac.2021.06.013. Epub 2021 Jun 26.	Original Article
121	Tashiro M., Obata Y., Takazono T., 他	臨床感染症学	Association between fluid infusions and the recovery from acute kidney injury in patients administered liposomal amphotericin B: a nationwide observational study	Ren Fail. 2022 Dec;44(1):282-292. doi: 10.1080/0886022X.2022.2036618.	Original Article
122	Tanaka T., Mori M., Sekino M.,他	感染制御教育センター	Impact of plasma 5-hydroxyindoleacetic acid, a serotonin metabolite, on clinical outcome in septic shock, and its effect on vascular permeability	Sci Rep. 2021 Jul 8;11(1):14146. doi: 10.1038/s41598-021-93649-z.	Original Article
123	Tanaka T., Yasumatsu M., Hirofumi M., 他	天然物化学	New degradation mechanism of black tea pigment theaflavin involving condensation with epigallocatechin-3-O-gallate	Food Chem. 2022 Feb 15;370:131326. doi: 10.1016/j.foodchem.2021.131326. Epub 2021 Oct 6.	Original Article
124	Doi M., Chiba K., Okazaki N., ,他	高度救命救急センター	Bone microstructure in healthy men measured by HR-pQCT: Age-related changes and their relationships with DXA parameters and biochemical markers	Bone. 2022 Jan;154:116252. doi: 10.1016/j.bone.2021.116252. Epub 2021 Nov 4.	Original Article
125	Tsuchiya T., Matsumoto K., Miyazaki T., , 他	腫瘍外科学	Successful pulmonary artery stenting for occlusion at a constructed pericardial conduit after right upper double sleeve lobectomy	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Apr;70(4):402-405. doi: 10.1007/s11748-022-01770-1. Epub 2022 Jan 19.	Original Article
126	Tokumasu F., Hayakawa E.H., Fukumoto J., , 他	シオノギグローバル感染症連携	Creative interior design by Plasmodium falciparum: Lipid metabolism and the parasite's secret chamber	Parasitol Int. 2021 Aug;83:102369. doi: 10.1016/j.parint.2021.102369. Epub 2021 Apr 24.	Original Article

小計7件

127	Hiyoshi H., English B.C., Diaz-Ochoa V.E., ,他	病原体解析	Virulence factors perforate the pathogen-containing vacuole to signal efferocytosis	Cell Host Microbe. 2022 Feb 9;30(2):163-170.e6. doi: 10.1016/j.chom.2021.12.001. Epub 2021 Dec 23.	Original Article
128	Soutome S., Otsuru M., Hayashida S., , 他	口腔保健学	Periosteal reaction of medication-related osteonecrosis of the jaw (MRONJ): clinical significance and changes during conservative therapy	Support Care Cancer. 2021 Nov;29(11):6361-6368. doi: 10.1007/s00520-021-06214-9. Epub 2021 Apr 21.	Original Article
129	Soutome S., Otsuru M., Hayashida S., , 他	口腔保健学	Relationship between tooth extraction and development of medication-related osteonecrosis of the jaw in cancer patients	Sci Rep. 2021 Aug 26;11(1):17226. doi: 10.1038/s41598-021-96480-8.	Original Article
130	Soutome S., Otsuru M., Murata M., ,他	口腔保健学	Preventive effects of betamethasone valerate ointment for radiation-induced severe oral mucositis in patients with oral or oropharyngeal cancer: Protocol for a multicentre, phase II, randomised controlled trial (Bet-ROM study)	BMJ Open. 2022 Jan 17;12(1):e056781. doi: 10.1136/bmjopen-2021-056781.	Original Article
131	Hagimori M., Karimine Y., Mizuyama N., 他	医薬品情報学	Selective Cadmium Fluorescence Probe Based on Bis-heterocyclic Molecule and its Imaging in Cells	J Fluoresc. 2021 Jul;31(4):1161-1167. doi: 10.1007/s10895-021-02748-7. Epub 2021 May 13.	Original Article
132	Toizumi M., Tanaka S., Moriuchi M., 他	臨床研究	Rubella seroprevalence among mothers and incidence of congenital rubella three years after rubella vaccine introduction in Vietnam	Hum Vaccin Immunother. 2021 Sep 2;17(9):3156-3161. doi: 10.1080/21645515.2021.1922264. Epub 2021 Jun 3.	Original Article
133	Odatsu T., Kuroshima S., Shinohara A., 他	口腔・顎・顔面インプラントセンター	Lactoferrin with Zn-ion protects and recovers fibroblast from H2O2-induced oxidative damage	Int J Biol Macromol. 2021 Nov 1;190:368-374. doi: 10.1016/j.ijbiomac.2021.08.214. Epub 2021 Sep 4.	Original Article

小計7件

134	Tominaga T., Nonaka T., Fukuda A., 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Usefulness of structured-cadaveric training for trans-anal pelvic exenteration	Asian J Endosc Surg. 2022 Apr;15(2):299-305. doi: 10.1111/ases.12998. Epub 2021 Oct 6.	Original Article
135	Tominaga T., Nonaka T., Fukuda A., 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Pathological complete response to pembrolizumab in patients with metastatic ascending colon cancer with microsatellite instability	Clin J Gastroenterol. 2022 Feb;15(1):134-139. doi: 10.1007/s12328-021-01543-y. Epub 2021 Oct 27.	Original Article
136	Fukuda M., Kishikawa N., Samemoto T., 他	薬品分析化学	Determination Method for Pyrroloquinoline Quinone in Food Products by HPLC-UV Detection Using a Redox-Based Colorimetric Reaction	Chem Pharm Bull (Tokyo). 2022;70(1):32-36. doi: 10.1248/cpb.c21-00638.	Original Article
137	Yamamoto-Fukuda T., Akiyama N., Kojima H.	生命医科学講座	Super-enhancer Acquisition Drives FOXC2 Expression in Middle Ear Cholesteatoma	J Assoc Res Otolaryngol. 2021 Jul;22(4):405-424. doi: 10.1007/s10162-021-00801-7. Epub 2021 Apr 16.	Original Article
138	Aoki S., Deyama S., Sugie R., , 他	薬品製造化学	The antidepressant-like effect of resolvin E1 in repeated prednisolone-induced depression model mice	Behav Brain Res. 2022 Feb 10;418:113676. doi: 10.1016/j.bbr.2021.113676. Epub 2021 Nov 18.	Original Article
139	Hirase T., Okubo Y., Delbaere K., , 他	理学療法学	Predictors of development and persistence of musculoskeletal pain in community-dwelling older people: A two-year longitudinal study	Geriatr Gerontol Int. 2021 Jun;21(6):519-524. doi: 10.1111/ggi.14172. Epub 2021 Apr 23.	Original Article
140	Hirase T., Okita M., Nakai Y., , 他	理学療法学	Pain and physical activity changes during the COVID-19 state of emergency among Japanese adults aged 40?years or older: A cross-sectional study	Medicine (Baltimore). 2021 Oct 15;100(41):e27533. doi: 10.1097/MD.00000000000027533.	Original Article

小計7件

141	Hirano Y.O., Nugraha S., Shiozu H., Higashijima M., Rahardjo T.B.W.	公衆衛生看護学	Measuring attentiveness toward oral care needs: a comparative study of Indonesian care workers in Japan and Indonesia	Hum Resour Health. 2021 Jun 1;19(1):71. doi: 10.1186/s12960-021-00614-y.	Original Article
142	Kitamura M., Takazono T., Yamaguchi K., , 他	腎臓内科	The impact of muscle mass loss and deteriorating physical function on prognosis in patients receiving hemodialysis	Sci Rep. 2021 Nov 16;11(1):22290. doi: 10.1038/s41598-021-01581-z.	Original Article
143	Kitamura M., Yamaguchi K., Ota Y., , 他	腎臓内科	Prognostic impact of polypharmacy by drug essentiality in patients on?hemodialysis	Sci Rep. 2021 Dec 20;11(1):24238. doi: 10.1038/s41598-021-03772-0.	Original Article
144	Honda Y., Tanaka N., Kajiwara Y., , 他	理学療法学	Effect of belt electrode-skeletal muscle electrical stimulation on immobilizationinduced muscle fibrosis	PLoS One. 2021 May 13;16(5):e0244120. doi: 10.1371/journal.pone.0244120. eCollection 2021.	Original Article
145	Sueyoshi E., Murakami T., He X., , 他	放射線診断治療学	CT findings of type A acute aortic dissection that did and did not result in prehospital death	Medicine (Baltimore). 2022 Jan 28;101(4):e28657. doi: 10.1097/MD.00000000000028657.	Original Article
146	NARUSE T., YANAMOTO S., OTSURU M., , 他	口腔外科	Multicenter retrospective study of weekly cetuximab plus paclitaxel for recurrent or metastatic oral squamous cell carcinoma	Anticancer Res. 2021 Nov;41(11):5785-5791. doi: 10.21873/anticancer.15395.	Original Article
147	Nonaka T., Tominaga T., Akazawa Y., , 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Usefulness of internal organ retractors in making sutureless delta-shaped intracorporeal anastomosis during laparoscopic colectomy	Tech Coloproctol. 2021 Nov;25(11):1255-1256. doi: 10.1007/s10151-021-02470-3. Epub 2021 Jun 9.	Original Article

小計7件

148	Nonaka T., Tominaga T., Akazawa Y.,, 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Cross-dominant surgery using the da Vinci (Xi) surgical system in advanced rectal cancer surgery	Tech Coloproctol. 2022 Jan;26(1):77-78. doi: 10.1007/s10151-021-02503-x. Epub 2021 Aug 18.	Original Article
149	Nonaka T., Tominaga T., Akazawa Y.,, 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Complete Endoscopic Transperineal Approach for Rectal Stump Cancer in a Patient with Crohn's Disease	Dis Colon Rectum. 2021 Nov 1;64(11):e656. doi: 10.1097/DCR.0000000000002054.	Original Article
150	Yahata K., Hart M.N., Davies H., , 他	病原体解析	Gliding motility of Plasmodium merozoites	Proc Natl Acad Sci U S A. 2021 Nov 30;118(48):e2114442118. doi: 10.1073/pnas.2114442118.	Original Article
151	Yang L., Deng J., Ma W., , 他	細胞機能解析	Ablation of lncrna miat attenuates pathological hypertrophy and heart failure	Theranostics. 2021 Jul 6;11(16):7995-8007. doi: 10.7150/thno.50990. eCollection 2021.	Original Article
152	Tateishi Y., Ueno Y., Tsuji A., , 他	脳神経内科	Cardiac and Echocardiographic Markers in Cryptogenic Stroke with Incidental Patent Foramen Ovale	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Aug;30(8):105892. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.105892. Epub 2021 Jun 6.	Original Article
153	Suzuki K., Amrenova A., Mitsutake N.	放射線リスク制御	Recent advances in radiobiology with respect to pleiotropic aspects of tissue reaction	J Radiat Res. 2021 May 5;62(Supplement_1):i30-i35. doi: 10.1093/jrr/rraa086.	Original Article
154	Rokutanda S., Yamada S.-I., Yanamoto S., , 他	展開医療科学講座	Predisposing conditions for condylar sag after intraoral vertical ramus osteotomy	Sci Rep. 2021 May 17;11(1):10463. doi: 10.1038/s41598-021-89968-w.	Original Article
155	Wada H., Tominaga T., Nonaka T., , 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Charlson comorbidity index predicts anastomotic leakage in patients with resected right-sided colon cancer	Surg Today. 2022 May;52(5):804-811. doi: 10.1007/s00595-022-02472-0. Epub 2022 Feb 14.	Original Article

小計8件

156	Qin X., Jiang Q., Komori H., 他	細胞生物学	Runt-related transcription factor-2 (Runx2) is required for bone matrix protein gene expression in committed osteoblasts in mice	J Bone Miner Res. 2021 Oct;36(10):2081-2095. doi: 10.1002/jbmr.4386. Epub 2021 Jun 27.	Original Article
157	Eida S., Hotokezaka Y., Sasaki M., 他	口腔診断・情報科学	A case of periosteal fasciitis located in the mandible in a child	Oral Radiol. 2022 Jan;38(1):175-181. doi: 10.1007/s11282-021-00544-4. Epub 2021 Jun 18.	Original Article
158	Ichinose K., Hedrich C.M., Moulton V.R., 他	リウマチ・膠原病内科学	Editorial: Focusing on T-Cells for Novel Treatments of Systemic Lupus Erythematosus	Front Immunol. 2021 Aug 6;12:744866. doi: 10.3389/fimmu.2021.744866. eCollection 2021.	Original Article
159	Kishikawa N.	薬品分析化学	Liquid Chromatographic Techniques in Food Sciences	Chem Pharm Bull (Tokyo). 2022;70(1):10-11. doi: 10.1248/cpb.c22-ctf7001.	Original Article
160	Hosogaya N., Miyazaki T., Fukushige Y., 他	臨床研究センター	Efficacy and safety of nelfinavir in asymptomatic and mild COVID-19 patients: a structured summary of a study protocol for a multicenter, randomized controlled trial	Trials. 2021 Apr 28;22(1):309. doi: 10.1186/s13063-021-05282-w.	Letter
161	Matsunaga H., Orita M., Oishi K., 他	放射線リスク制御	Intention to return in residents of Okuma and its characteristics: The evacuation order was lifted eight years after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident	J Radiat Res. 2021 Sep 13;62(5):868-870. doi: 10.1093/jrr/rrab058.	Letter
162	Matsuzaka Y., Michitsuji T., Ozono E., 他	医療教育開発センター(医科)	Significance of a psychiatry rotation for subjective achievement of competencies related to psychiatry in the Japanese postgraduate residency system	Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Feb;76(2):63-64. doi: 10.1111/pcn.13316. Epub 2021 Dec 17.	Letter

小計7件

163	Shimizu Y.	社会医療科学講座	Comment on “Does body height affect vascular function?”	Hypertens Res. 2022 Jun;45(6):1091-1092. doi: 10.1038/s41440-022-00887-3. Epub 2022 Mar 24.	Letter
164	Soyama A., Hara T., Matsushima H., 他	移植・消化器外科学	Minimally Invasive Approach to Recipient Surgery in Living Donor Liver Transplantation	Liver Transpl. 2021 Nov;27(11):1678-1679. doi: 10.1002/lt.26262. Epub 2021 Aug 25.	Letter
165	Taira Y., Kaida K., Egoshi T.	歯科補綴学	Ceramic coating on hydroxyapatite by aerosol deposition	J Prosthodont Res. 2022 Jan 11;66(1):4-5. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_20_00265. Epub 2021 Apr 9.	Letter
166	Kawano H., Abe K., Izumida S., 他	循環器内科学	Pathological features of acute myocarditis associated with takayasu arteritis	Circ J. 2021 May 25;85(6):953. doi: 10.1253/circj.CJ-20-1218. Epub 2021 Apr 2.	Original Article
167	Kawano H., Matsumura K., Sueyoshi E., 他	循環器内科学	Myocardial damage in an elderly female patient with peripartum cardiomyopathy	Circ J. 2021 Jun 25;85(7):1102. doi: 10.1253/circj.CJ-21-0148. Epub 2021 May 13.	Original Article
168	Kawano H., Kudo T., Maemura K.	循環器内科学	Myocardial metabolic abnormality in a patient with uremic cardiomyopathy	Circ J. 2021 Sep 24;85(10):1895. doi: 10.1253/circj.CJ-21-0401. Epub 2021 Jul 6.	Original Article
169	Miyata Y., Matsuo T., Sakai H.	泌尿器科学	Editorial Comment to Green-light laser en bloc resection versus conventional transurethral resection for initial non-muscle-invasive bladder cancer: A randomized controlled trial	Int J Urol. 2021 Aug;28(8):860-861. doi: 10.1111/iju.14607. Epub 2021 May 19.	Original Article

小計7件

170	Takahashi K., Yasuda I., Nakao K.	総合患者支援部	Placement of a lumen- apposing metal stent using the water-filling technique from an endoscopic nasocystic drainage catheter to walled-off necrosis with less liquid component	Dig Endosc. 2022 May;34(4):e79-e80. doi: 10.1111/den.14275. Epub 2022 Mar 22.	Original Article
171	Matsuo T., Miyata Y., Sakai H.	泌尿器科学	Editorial Comment to Video-urodynamic effects of vibegron, a new selective $\beta$ 3- adrenoceptor agonist, on antimuscarinic- resistant neurogenic bladder dysfunction in patients with spina bifida	Int J Urol. 2022 Jan;29(1):81-82. doi: 10.1111/iju.14734. Epub 2021 Oct 25.	Original Article
172	Matsuo T., Miyata Y., Sakai H.	泌尿器科学	Editorial Comment from Dr Matsuo et al. to Mirabegron for treatment of erectile dysfunction concomitant with lower urinary tract symptoms in patients with benign prostatic obstruction: A randomized controlled trial	Int J Urol. 2022 May;29(5):397. doi: 10.1111/iju.14820. Epub 2022 Feb 10.	Original Article
173	Matsuo T., Miyata Y., Sakai H.	泌尿器科学	Editorial Comment to Combination therapy with tamsulosin and traditional herbal medicine for lower urinary tract symptoms due to benign prostatic hyperplasia: A double- blinded, randomized, pilot clinical trial	Int J Urol. 2022 Jun;29(6):510. doi: 10.1111/iju.14844. Epub 2022 Mar 16.	Original Article
174	Akazawa Y., Araki Y., Miura S., 他	附属放射線・環境健康影響共 同研究推進センター	End of an Era of Sample Collection for the Nagasaki Atomic Bomb Survivor's Tumor Tissue Bank	Radiat Res. 2021 Sep 1;196(3):323-325. doi: 10.1667/RADE-21-00058.1.	Original Article

小計5件



175	Nakaji S., Obase K., Matsumaru I., 他	心臓血管外科	A case of pulmonary artery aneurysm with isolated unicuspid pulmonary valve	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2021 Jul 20;22(8):e130. doi: 10.1093/ehjci/jeab081.	Original Article
176	Minami T., Kawano H., Yoshimuta T., 他	メディカル・ワークライフバランスセンター	Heparin treatment ameliorates aortic regurgitation due to malignancy-associated non-bacterial thrombotic endocarditis	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2022 Jun 1;23(6):e269. doi: 10.1093/ehjci/jeac038.	Original Article
177	Obase K., Maemura K., Matsumaru I., 他	心臓血管外科	Left ventricular outflow tract obstruction related to systolic anterior motion of anomalous secondary chords	Eur J Cardiothorac Surg. 2021 Nov 2;60(5):1239. doi: 10.1093/ejcts/ezab255.	Original Article
178	Nonaka T., Tominaga T., Akazawa Y., 他	大腸・肛門外科(第一外科)	Successful Laparoscopic Resection of Rectal Cancer with Uterine Invasion Using a Combined Endoscopic Transanal and Transvaginal Approach	Dis Colon Rectum. 2021 Aug 1;64(8):e464. doi: 10.1097/DCR.0000000000002055.	Original Article
179	Inoue T.	内臓機能生理学	Neuroimmune system-mediated renal protection mechanisms	Clin Exp Nephrol. 2021 Sep;25(9):915-924. doi: 10.1007/s10157-021-02062-3. Epub 2021 Apr 20.	Review
180	Kato K., Hansen L., Clausen H.	環境医学	Polypeptide n-acetylgalactosaminyltransferase-associated phenotypes in mammals	Molecules. 2021 Sep 10;26(18):5504. doi: 10.3390/molecules26185504.	Review
181	Mitsutake N., Saenko V.	放射線リスク制御	Molecular pathogenesis of pediatric thyroid carcinoma	J Radiat Res. 2021 May 5;62(Supplement_1):i71-i77. doi: 10.1093/jrr/rraa096.	Review

小計7件

182	Ogami-Takamura K., Saiki K., Endo D., 他	肉眼解剖学	The risk of Creutzfeldt-Jakob disease infection in cadaveric surgical training	Anat Sci Int. 2022 Jul;97(3):297-302. doi: 10.1007/s12565-022-00662-x. Epub 2022 Mar 21.	Review
183	Takamura N., Orita M., Taira Y., 他	放射線リスク制御	Experiences of crisis communication during radiation emergency and risk communication for recovery of the community in Fukushima	J Radiat Res. 2021 May 5;62(Supplement_1):i95-i100. doi: 10.1093/jrr/rraa113.	Review
184	Matsunaga H., Aruga J.	医科薬理学	Trans-Synaptic Regulation of Metabotropic Glutamate Receptors by Elfn Proteins in Health and Disease	Front Neural Circuits. 2021 Mar 15;15:634875. doi: 10.3389/fncir.2021.634875. eCollection 2021.	Review
185	Shimizu T., Nakamura H., Kawakami A.	臨床研究センター	Role of the innate immunity signaling pathway in the pathogenesis of sj?gren's syndrome	Int J Mol Sci. 2021 Mar 17;22(6):3090. doi: 10.3390/ijms22063090.	Review
186	Murata H., Vanegas C., Ogami-Takamura K.	麻酔集中治療医学	Ultrasound-guided regional anesthesia in COVID-19 and future pandemics: infection control	Curr Opin Anaesthesiol. 2021 Oct 1;34(5):648-653. doi: 10.1097/ACO.0000000000001034.	Review
187	Tsukuba T., Yamaguchi Y., Kadowaki T.	歯科薬理学	Large rab gtpases: Novel membrane trafficking regulators with a calcium sensor and functional domains	Int J Mol Sci. 2021 Jul 19;22(14):7691. doi: 10.3390/ijms22147691.	Review
188	Tanaka T., Oshima K., Kawano K., 他	感染制御教育センター	Nationwide surveillance of AIDS-defining illnesses among HIV patients in Japan from 1995 to 2017	PLoS One. 2021 Aug 19;16(8):e0256452. doi: 10.1371/journal.pone.0256452. eCollection 2021.	Review
189	Yoneda M., Nakagawa T., Hattori N., 他	生化学	The nucleolus from a liquid droplet perspective	J Biochem. 2021 Oct 11;170(2):153-162. doi: 10.1093/jb/mvab090.	Review

計189件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計0件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を 諮ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記 載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に  
「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員 会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規程が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規程」  臨床研究利益相反審査委員会は「利益相反審査自己申告書」により利益相反の管理を行う。申 告書により利益相反があきらかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された臨床研究実	

<p>施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップを行う。</p> <p>(「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より)</p>	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 26 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>○臨床研究に関する研修会 (26回 (内訳: オンライン研修会25回、ワークショップ1回))</p> <p>内容: 臨床研究法について、研究と知的財産について、臨床研究におけるモニタリングについて、臨床研究における安全性報告について、医師主導治験・調整事務局について、臨床研究における企業との契約締結時の留意点、必須文書の保管の仕方、症例報告書(CRF)の設計、研究者ができる臨床研究データマネジメント、治験における健康被害の補償と賠償 等</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院では、日本専門医機構に準ずる基本 19 領域のうちリハビリテーション科を除く 18 領域のプログラムがあり、県内外の関連病院、海外の拠点病院と連携して、高度専門医療を研修できるシステムを構築している。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業により発足した医師育成キャリア支援室では、これまで個人で専門医の資格を取るために行っていたことを、大学病院が全面的にサポートし、できるだけ短期間で効率よく専門医資格修得できるよう、専門のコーディネーターによる支援を行っている。

歯科においては、1年の初期臨床研修に引き続き専門歯科医師の養成、地域歯科医療のリーダー育成および高齢者や有病者における全身管理を実践できる歯科医師の養成を目的として、20コース（選択制）の後期臨床研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	66 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川上 純	リウマチ・膠原病内科	教授	37年	
川上 純	内分泌・代謝内科	教授	37年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	33年	
迎 寛	呼吸器内科	教授	37年	
西野 友哉	腎臓内科	教授	25年	
中尾 一彦	消化器内科	教授	39年	
前村 浩二	循環器内科	教授	36年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	36年	
有吉 紅也	感染症内科	教授	36年	
森内 浩幸	小児科	教授	38年	
室田 浩之	皮膚科・アレルギー科	教授	26年	
小澤 寛樹	精神科神経科	教授	37年	
永安 武	呼吸器外科	教授	35年	
江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	教授	30年	
江石 清行	心臓血管外科	教授	40年	
尾崎 誠	整形外科	教授	31年	
三浦 清徳	産婦人科	教授	27年	
北岡 隆	眼科	教授	39年	
熊井 良彦	耳鼻咽喉科	教授	23年	
酒井 英樹	泌尿器科・腎移植外科	教授	39年	

松尾 孝之	脳神経外科	教授	33年
上谷 雅孝	放射線科	教授	41年
原 哲也	麻酔科	教授	30年
岡野 慎士	病理診断科	教授	29年
柳原 克紀	検査部	教授	31年
田崎 修	救急科	教授	32年
田中 克己	形成外科	教授	38年
前田 隆浩	総合診療科	教授	37年
中尾 一彦	小児歯科	教授	39年
吉田 教明	矯正歯科	教授	36年
梅田 正博	歯科口腔外科	教授	39年
鮎瀬 卓郎	麻酔・生体管理科	教授	38年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器、ハイフローセラピー装置）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月27日・1回</li><li>・研修の参加人数：6名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（ハイフローセラピー装置プレジジョンフロープラス）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月27日、11月24日・各1回</li><li>・研修の参加人数：19名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器Servo-u）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年5月21日・1回</li><li>・研修の参加人数：4名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（補助循環装置Impella）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月21日・1回</li><li>・研修の参加人数：28名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器、ハイフローセラピー装置）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月26日・1回</li><li>・研修の参加人数：10名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器MT60）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月29日・1回</li><li>・研修の参加人数：7名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（体外式ペースメーカー）</li><li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月28日・1回</li><li>・研修の参加人数：24名</li></ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（補助循環装置SP-200NEO、UNIMO）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年5月21日・1回</li> <li>・研修の参加人数：60名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器V60ベンチレータ）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年12月22日・1回</li> <li>・研修の参加人数：7名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器PB980）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年1月21日、1月28日・各1回</li> <li>・研修の参加人数：16名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器Puppy-X）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年1月21日、1月28日・各1回</li> <li>・研修の参加人数：22名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新採用看護師オリエンテーション</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月6日・年1回</li> <li>・研修の参加人数：40名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：医療安全研修会</li> <li>・研修の期間・実施回数：年3回（eラーニング）</li> <li>・研修の参加人数：全職員対象 2411 名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：各病棟看護師スタッフ等への研修講義</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月8日、令和3年9月24日、令和4年2月18日</li> <li>・研修の参加人数：3名、12名、16名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：長崎大学病院 緩和ケア研修会</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年8月22日・年1回</li> <li>・研修の参加人数：24名</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：看護師特定行為研修 臨床薬理学講義</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月27日～10月1日</li> <li>・研修の参加人数：8名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：糖尿病ケアサポートチーム・多職種レクチャー</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月10日・年1回</li> <li>・研修の参加人数：27名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：NST学習会</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月14日・年1回</li> <li>・研修の参加人数：25名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新採用者オリエンテーション</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月1日～4月12日 1回</li> <li>・研修の参加人数：35名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：電子カルテ操作研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月15日・16日 1回</li> <li>・研修の参加人数：36名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：静脈血採血技術演習</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月19日・21日 1回</li> <li>・研修の参加人数：35名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新採用者フォローアップ研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年5月11日・14日、6月7日・14日、10月6日・13日、 12月9日・16日 4回</li> <li>・研修の参加人数：134名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：患者の状態観察と報告</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年6月16日・23日 1回</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加人数： 28名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：インスリン療法中の患者対応</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月7日・13日・28日 1回</li> <li>・研修の参加人数： 28名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：2年目看護師育成研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年5月21日・24日、6月3日・7日・14日、10月6日・23日、 12月9日・16日 4回</li> <li>・研修の参加人数： 281名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：褥瘡対策研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月15日・9月22日 1回</li> <li>・研修の参加人数： 33名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：中心静脈カテーテル管理研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年8月25日 1回</li> <li>・研修の参加人数： 27名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：ドレーン管理研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年11月22日 1回</li> <li>・研修の参加人数： 20名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：セルフマネジメント研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年10月21日 1回</li> <li>・研修の参加人数： 7名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：看護研究研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：オンデマンド配信 令和3年5月17日～5月30日 7月26日～8月9日 9月6日・9月13日 11月19日 12月17日 令和4年1月17日 6回シリーズ</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加人数： のべ159名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：指導者育成研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：オンデマンド配信 令和3年4月29日～5月14日、 5月10日～5月31日、7月6日・7月27日、10月25日 4回シリーズ</li> <li>・研修の参加人数： のべ127名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：リーダーシップ研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月12日、10月20日、令和4年1月24日 3回シリーズ</li> <li>・研修の参加人数： のべ27名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：臨地実習指導者研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月9日・令和4年1月21日 1回</li> <li>・研修の参加人数： 35名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：看取りについて考える研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月10日 1回/年</li> <li>・研修の参加人数： 20名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：復帰支援スクール</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月8日・12月7日・12月8日・令和4年3月8日 (オンライン) 1回</li> <li>・研修の参加人数： 35名</li> </ul>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工呼吸器 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年5月6日・1回</li> <li>・研修の参加人数：150名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（閉鎖式保育器 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年6月2日・1回</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加人数：91名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（血液浄化装置 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月3日・1回</li> <li>・研修の参加人数：132名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（除細動装置 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年8月2日・1回</li> <li>・研修の参加人数：123名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工心肺装置及び補助循環 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月2日・1回</li> <li>・研修の参加人数：96名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用高エネルギー発生装置 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月16日・1回</li> <li>・研修の参加人数：9名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用放射線照射装置 前期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月16日・1回</li> <li>・研修の参加人数：9名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工呼吸器 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年11月26日・1回</li> <li>・研修の参加人数：128名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（閉鎖式保育器 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年12月13日・1回</li> <li>・研修の参加人数：75名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（血液浄化装置 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年1月18日・1回</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加人数：122名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（除細動装置 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年2月4日・1回</li> <li>・研修の参加人数：127名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工心肺装置及び補助循環 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年3月4日・1回</li> <li>・研修の参加人数：84名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用高エネルギー発生装置 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年2月17日・1回</li> <li>・研修の参加人数：9名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用放射線照射装置 後期）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年2月17日・1回</li> <li>・研修の参加人数：9名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超音波診断装置）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年4月7日・1回</li> <li>・研修の参加人数：18名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（電動式骨手術装置）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年6月17日・1回</li> <li>・研修の参加人数：10名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（可搬型手術用顕微鏡）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月26日、27日、28日、30日・各1回</li> <li>・研修の参加人数：46名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（経皮血液ガスモニタ）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年7月28日・1回</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加人数：3名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（解析付心電計）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月24日・1回</li> <li>・研修の参加人数：19名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（赤外線分光分析装置）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月29日・1回</li> <li>・研修の参加人数：5名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（電子内視鏡システム）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年9月24日、28日・各1回</li> <li>・研修の参加人数：19名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（MRI生体情報モニタリングシステム）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年10月5日・1回</li> <li>・研修の参加人数：26名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（歯科用デジタルX線撮影センサ）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年12月7日・1回</li> <li>・研修の参加人数：18名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（口腔内スキャナー）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年11月9日・1回</li> <li>・研修の参加人数：19名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（二相式気道陽圧ユニット）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年12月20日・1回</li> <li>・研修の参加人数：7名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（BD Elevationバイオプシーシステム）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年1月17日・1回</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の参加人数：4名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（軽量移動型デジタルX線撮影装置）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和3年12月21日、24日、28日、31日、令和4年1月3日・各1回</li> <li>・研修の参加人数：25名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（PDTレーザー）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年1月18日・1回</li> <li>・研修の参加人数：16名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（患者体位固定具）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年3月1日・1回</li> <li>・研修の参加人数：18名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（筋電図・誘発電位検査装置）</li> <li>・研修の期間・実施回数：令和4年3月17日・1回</li> <li>・研修の参加人数：8名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：新採用薬剤師研修プログラム</li> <li>・研修の期間・実施回数：6ヶ月（調剤業務48回，注射薬室業務30回，抗癌剤調製6-8回，麻薬業務2回）</li> <li>・研修の参加人数：5名（勤務1年目 の薬剤師）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：薬剤管理指導業務研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：6ヶ月、週2時間</li> <li>・研修の参加人数：5名（勤務1年目 の薬剤師）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：休日TDM測定業務研修</li> <li>・研修の期間・実施回数：2ヶ月間・3回</li> <li>・研修の参加人数：1名（勤務2年目 の薬剤師）</li> </ul>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>



- ・研修の主な内容：地域薬学care専門薬剤師（薬局薬剤師）
- ・研修の期間・実施回数：5年間・週1回
- ・研修の参加人数：2名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 中尾 一彦
管理担当者氏名	放射線部副部長 森川 実 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 笹田 健太 医事課長 島田 邦博 薬剤部長 大山 要 ME機器センター長 栗原 慎太郎 人事企画課長 吉岡 裕敏 医療安全課長 黒田 恵美

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	※	
		看護記録	※	
		検査所見記録	※	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	※	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	※	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事企画課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課、医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
			入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	規則第一条	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全課
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全課		

	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	施錠可能な部屋にあるキャビネット内に書面にて保管。
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全課
		職員研修の実施状況	医療安全課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 薬剤部 ME機器センター
管理者が有する権限に関する状況	総務課、人事企画課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 本田 秀史
閲覧担当者氏名	総務課長 笹田 健太
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療安全管理に関する基本的考え方</li> <li>○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項</li> <li>○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>○医療事故発生時の対応に関する基本方針</li> <li>○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>○患者等からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>○その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無 (有・無)</li> <li>○医療安全管理委員会 (月1回開催)</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>○リスクマネージャー会議 (月1回開催)</li> <li>・ 開催状況：年12回 (書面会議11回)</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療安全に関する対策の推進</li> <li>○医事紛争及び医療事故等、問題が発生した場合の調査及び分析。</li> <li>○医療安全のための教育及び研修。</li> <li>○医療安全のためのマニュアル作成等。</li> <li>○医療安全に関する情報収集。</li> <li>○医薬品医療機器等安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会における審議内容に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容 (すべて)：</li> <li>1. 令和3年度第1回医療安全研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「新システムの患者基本情報～総括～」 安全管理部 部長 栗原 慎太郎先生</li> <li>②「新システムの患者基本情報～医薬品～」 安全管理部 薬剤師GRM橋詰 淳哉先生</li> <li>③「患者基本の『食物アレルギー情報』と食事オーダーの連動について」 栄養管理室 溝田 記子管理栄養士</li> </ul> </li> <li>2. 令和3年度第2回医療安全研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「ペイシェント・ハラスメント」 安全管理部 部長 栗原 慎太郎先生</li> <li>②「院内で起こる暴言・暴力への対応CVPPP」 5階西病棟 看護師 山中 進悟先生</li> </ul> </li> <li>3. 令和3年度第3回医療安全研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「危機的出血への輸血療法と アルブミン製剤管理体制の変更について」 細胞療法部 副部長 長井 一浩先生</li> <li>②「今年度に運用を変更した医薬品の安全管理対策」 安全管理部 GRM/薬剤師 橋詰 淳哉先生</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療安全管理マニュアルの改訂</li> <li>○インシデントレポート報告システムの改良</li> <li>○安全管理部部員等による院内巡視</li> <li>○医療安全ポケットマニュアルの改訂</li> <li>○安全管理部カンファレンス (週1回実施)</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1) 院内感染対策委員会の設置、2) 職員研修の実施、3) 病院感染発生時の対応、4) 院内感染対策マニュアルの策定、5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明、6) その他の病院における院内感染対策の推進</p> <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 45 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(構成員)</p> <p>委員長：病院長、感染制御教育センター長（院内感染管理者）、他委員数13名、計15名全員の出席をもって開催される。</p> <p>(開催回数内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例開催（毎月1回（8月は休会）） 1 1 回</li> <li>・ 臨時開催（10/4）1回</li> <li>・ covid-19災害対策運営委員会「院内感染対策委員会・病院運営会議合同会議」33回</li> </ul> <p>(検討内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開JCTラウンド等の報告、承認を行う。</li> <li>・ COVID-19への対応、他。</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>1. 令和3年度第1回院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会 「サイレントパンデミック」 感染症医療人育成センター 教授 古本朗嗣先生</p> <p>2. 令和3年度第2回院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会 「求められる感染制御～コロナ対応と抗菌薬適正使用を含めて」 大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学 教授 掛屋弘先生</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。新型コロナウイルス感染症を含む伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなるICTチームでラウンド</p>	

し、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。

また、広域抗菌薬・抗真菌薬使用患者を土曜、休日以外の連日、ピックアップし、薬剤師を中心に医師・看護師・検査技師を交えたASTチームでカンファレンスを行い、主治医にカルテ上でのコメントを通じて抗菌薬適正使用支援（ASP）活動を行っている。なお、本活動の一環として、連日、微生物検査室からの報告を用いて血液培養ラウンドを行い、感染症診療支援、抗菌薬適正使用支援を行っている。学内システムを用いた院内全職員の健康管理を毎日行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>令和3年度 第1回安全管理研修会（e-ラーニングのみ）</li> <li>「新システムの患者基本情報～医薬品～」（講師：橋詰 淳哉 薬剤師）</li> <li>実施日：令和3年7月-8月、イントラネット動画研修、受講人員：2411人（97%）</li> <li>令和3年度 第3回安全管理研修会（e-ラーニングのみ）</li> <li>「今年度に運用を変更した医薬品の安全管理対策」（講師：橋詰 淳哉 薬剤師）</li> <li>実施日：令和4年1月-2月、イントラネット動画研修、受講人員：2411人（85%）</li> </ul>	年 2 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成（有・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</li> <li>1. 医薬品の採用・購入に関する事項</li> <li>2. 医薬品の管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理）</li> <li>3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項（改訂有り）</li> <li>4. 患者に対する服薬指導に関する事項</li> <li>5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い</li> <li>6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理（改訂有り）</li> <li>7. 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項（改訂有り）</li> <li>8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等</li> <li>9. 薬剤投与のための機器使用</li> <li>10. 放射性医薬品の管理</li> <li>11. 臨床検査薬の管理（改訂有り）</li> <li>12. 造影剤の管理、使用</li> <li>13. 血液浄化療法部門</li> <li>14. 外来化学療法部門</li> <li>15. 院内製剤の取り扱いについて（改訂有り）</li> <li>16. 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について</li> <li>17. 当該手順書の順守状況の確認</li> </ul>	

実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) : なし

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

【収集方法】

未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) で把握している。その他の適応外使用等については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、診療科からの申請・報告により薬機専でも把握している。

医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。

【周知方法】

未承認新規医薬品に関しては担当部署である薬機専の委員長より医療安全管理委員会において定期的に報告している。その他の未承認等に関しても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告している。

採用薬に関して改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科 (診療科長、医局長)、中央診療部 (部長、副部長等) に対しては、緊急安全性情報、安全性速報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI news等を用いて情報発信を行っている。緊急安全性情報、安全性速報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム (DICS) には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																																																										
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 52 回																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい医療機器の導入時の研修</li> <li>特定機能病院における定期研修</li> <li>有効性・安全性に関する事項</li> <li>使用方法に関する事項</li> <li>保守点検に関する事項</li> <li>不具合が発生した場合の対応に関する事項</li> <li>使用に関して特に法令上遵守すべき事項など</li> </ul> </li> </ul>																																																																																											
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：           <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">人工呼吸器</td> <td style="width: 10%;">： 外観点検、性能</td> <td style="width: 10%;">・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>輸液ポンプ</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>シリンジポンプ</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>経腸栄養ポンプ</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>除細動器</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>閉鎖式保育器</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>人工心肺装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>IABP</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>経皮的補助循環装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>フットポンプ</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>体外式ペースメーカー</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>補助人工心臓駆動装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>麻酔器</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>電気手術器</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>内視鏡装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>直線加速装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>診療用放射線照射装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>放射線関連装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>CT装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>MRI装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>心電計</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>脳波計</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>AED</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>血液浄化装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>透析液作製関連装置</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>手術支援ロボットシステム</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>超音波手術器</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> <tr> <td>歯科関連機器</td> <td>： 外観点検、性能</td> <td>・ 機能点検など</td> </tr> </table> </li> </ul>		人工呼吸器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	輸液ポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	シリンジポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	経腸栄養ポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	除細動器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	閉鎖式保育器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	人工心肺装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	IABP	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	経皮的補助循環装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	フットポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	体外式ペースメーカー	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	補助人工心臓駆動装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	麻酔器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	電気手術器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	内視鏡	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	内視鏡装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	直線加速装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	診療用放射線照射装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	放射線関連装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	CT装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	MRI装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	心電計	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	脳波計	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	超音波診断装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	AED	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	血液浄化装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	透析液作製関連装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	手術支援ロボットシステム	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	超音波手術器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など	歯科関連機器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など
人工呼吸器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
輸液ポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
シリンジポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
経腸栄養ポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
除細動器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
閉鎖式保育器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
人工心肺装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
IABP	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
経皮的補助循環装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
フットポンプ	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
体外式ペースメーカー	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
補助人工心臓駆動装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
麻酔器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
電気手術器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
内視鏡	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
内視鏡装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
直線加速装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
診療用放射線照射装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
放射線関連装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
CT装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
MRI装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
心電計	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
脳波計	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
超音波診断装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
AED	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
血液浄化装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
透析液作製関連装置	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
手術支援ロボットシステム	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
超音波手術器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
歯科関連機器	： 外観点検、性能	・ 機能点検など																																																																																									
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：なし</li> </ul>																																																																																											

・ その他の改善のための方策の主な内容：

日本医療機能評価機構やPMDA、製造販売企業などからの情報を収集し、医療安全管理委員会や安全管理部、リスクマネージャー会議へ報告すると共に、RMニュースとして各リスクマネージャーへメールで配信し、リスクマネージャーから所属スタッフへ周知を行っている。  
機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能なシステムを構築している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長は、医療安全管理部門の長を兼任し、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、医療安全に関する委員会 (医療安全管理委員会) の構成員であり、各委員会の報告を医療安全管理委員会において実施している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (12名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>① <u>医薬品情報資料の収集、整理、保管及び情報の加工と専門的評価</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) インターネットを利用した情報収集</li> <li>2) 学術雑誌等よりの情報収集</li> <li>3) 製薬会社の医薬情報担当者 (MR ; medical representatives) よりの情報収集</li> <li>4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者よりの情報収集</li> <li>5) 資料の整理・保管・管理</li> <li>6) 書籍・雑誌等の購入</li> </ol> <p>② <u>医薬品に関する情報の伝達</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医薬品集の作製、改訂</li> <li>2) 全診療科・病棟・中央診療部への定期的な情報伝達</li> <li>3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者への情報提供</li> <li>4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者との情報共有</li> <li>5) 他の病院薬局への情報提供</li> </ol> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p> <p>その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者の指名の有無 (有・無)</li> <li>・ 担当者の所属・職種： <ul style="list-style-type: none"> <li>(所属：薬剤部、職種 薬剤師) (所属：安全管理部/ME機器センター、職種 医師)</li> <li>(所属：循環器内科、職種 医師) (所属：皮膚科・アレルギー科、職種 医師)</li> <li>(所属：移植・消化器外科、職種 医師)</li> <li>(所属：内分泌・代謝内科/リウマチ膠原病内科、職種 医師)</li> <li>(所属：小児科、職種 医師) (所属：ME機器センター、職種 臨床工学技士)</li> <li>(所属：歯科 麻酔・生体管理科、職種 歯科医師)</li> <li>(所属：感染制御教育センター、職種 医師) (所属：看護部、職種 看護師)</li> <li>(所属：事務部、職種 事務職員)</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</li> </ul> <p>説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また、説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても推進する。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</li> </ul> <p>診療録及び退院時要約の記載内容について監査及び報告、法令に基づく診療録の管理、診療記録の提供</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（11）名</li> <li>うち医師・歯科医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（4）名</li> </ul>	

うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名

うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（２）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

○医療安全管理マニュアルの改訂

○安全管理部部員等による院内巡視

○インシデントレポートの分析

○死亡事例の把握・検証

○安全管理部カンファレンス（週1回実施）

○医療安全研修会について、e-ラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 3件）、及び許可件数（ 3件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有・無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有・無 ）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術評価委員会と連携し、高難度新規医療技術の導入に係る申請に対する実施の可否についての判定及び実施後のモニタリングを行っている。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有・無 ）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 218件）、及び許可件数（ 218件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有・無 ）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有・無 ）

・活動の主な内容：

- 医療事故防止対策マニュアルの改訂
- 安全管理部部員等による院内巡視
- インシデントレポートの分析
- 死亡事例の把握・検証
- 安全管理部カンファレンス（週1回実施）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 251 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 54 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 医療安全管理マニュアルの改訂
- 安全管理部部員等による院内巡視
- インシデントレポートの分析
- 死亡事例の把握・検証
- 安全管理部カンファレンス（週1回実施）

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：九州大学病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：鹿児島大学病院）・無）

・技術的助言の実施状況

新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、訪問調査は取りやめとなり、被訪問大学から提出された自己チェックシートの内容を紙面調査という形で実施し、特に改善を求めるような指摘事項はなかった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

総合患者支援部に患者相談室を設置し、患者家族等からの医学的な質問、医療安全に係る相談等、様々な相談を患者相談窓口にて一元的に対応し、必要に応じて、助言、情報提供等を行いながら患者家族等を支援している。



⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 令和3年度第1回医療安全研修会

①「新システムの患者基本情報～総括～」

安全管理部 部長 栗原 慎太郎先生

②「新システムの患者基本情報～医薬品～」

安全管理部 薬剤師 GRM 橋詰 淳哉先生

③「患者基本の『食物アレルギー情報』と食事オーダーの連動について」

栄養管理室 溝田 記子管理栄養士

2. 令和3年度第2回医療安全研修会

①「ペイシエント・ハラスメント」

安全管理部 部長 栗原 慎太郎先生

②「院内で起こる暴言・暴力への対応 CVPPP」

5階西病棟 看護師 山中 進悟先生

3. 令和3年度第3回医療安全研修会

①「危機的出血への輸血療法と アルブミン製剤管理体制の変更について」

細胞療法部 副部長 長井 一浩先生

②「今年度に運用を変更した医薬品の安全管理対策」

安全管理部 GRM/薬剤師 橋詰 淳哉先生

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、全員が公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する2021年度特定機能病院管理者研修を受講した。

○受講日

管理者(中尾 一彦) : 2022年1月19日

医療安全管理責任者(江口 晋) : 2022年2月2日

医薬品安全管理責任者(兒玉 幸修) : 2021年12月15日

医療機器安全管理責任者(栗原 慎太郎) 2022年1月19日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構、「病院機能評価：一般病院3」2018年11月

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

審査結果報告書を病院ホームページに掲載

・ 評価を踏まえ講じた措置

診療の質向上や業務改善に継続的に取り組んでいる。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容 【長崎大学病院長選考規程より抜粋】 第3条 病院長となることのできる者は、次の各号のいずれにも該当する。 (1) 医療法(昭和23年法律第205号)第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者 (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 組織管理能力等の長崎大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者</li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法 ホームページにて公表。</li> </ul>
---

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>【長崎大学病院運営会議規程より抜粋】</p> <p>第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議する。</p> <p>(1) 経営・運営方針に関すること。</p> <p>(2) 中期目標・中期計画に関すること。</p> <p>(3) 教育・研究活動に関すること。</p> <p>(4) 規程等の制定及び改廃に関すること。</p> <p>(5) 教育研究組織に関する事項</p> <p>(6) 予算及び決算に関する事項</p> <p>(7) 教員の採用及び昇任に関する事項</p> <p>(8) 教員の再任に関する事項</p> <p>(9) その他病院の管理運営に関する重要な事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>院内ホームページ（イントラネット）に、病院運営会議の議事要旨を掲載している。</p> <p>また、診療科長等会議で病院運営会議の概要報告を行うとともに、事務部においては、課内連絡会で議題内容の報告をするなどして情報共有を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>ホームページにて公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（(有)・無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中尾 一彦	○	医師	病院長
浜田 久之		医師	副学長（高大接続・入試広報担当）／病院長補佐「教育・広報」
尾崎 誠		医師	副病院長「総務」
江口 晋		医師	副病院長「安全」

西野 友哉		医師	副病院長「診療」
辻野 彰		医師	副病院長「経営」
迎 寛		医師	副病院長「人事」
澤瀬 隆		歯科医師	副病院長「歯科統括」
小淵 美樹子		看護師	副病院長「看護統括」
本田 秀史		事務職員	副病院長「事務統括」
山本 弘史		薬剤師	病院長補佐「研究」
泉川 公一		医師	副学長（新型コロナウイルス感染症対策担当）／病院長補佐「国際」
栗原 慎太郎		医師	病院長補佐「安全」
池田 聡司		医師	病院長補佐「施設」
山下 利佳		歯科医師	病院長補佐「福利厚生」
松本 武浩		医師	病院長補佐「医療情報」
田浦 直太		医師	病院長補佐「総合患者支援」
田崎 修		医師	高度救命救急センター長
大山 要		薬剤師	薬剤部長
福田 徹		診療放射線技師	医療技術部長
永岡 亜也子		外部有識者 (弁護士)	病院顧問（弁護士法人 ふくざき法律事務所）

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法  
大学ホームページにて公表。

- ・ 規程の主な内容  
【長崎大学病院規則より抜粋】  
(病院長)  
第3条 本院に、病院長を置く。  
2 病院長は、病院の管理運営をつかさどり、所属職員を統括する。

- 【長崎大学会計規則より抜粋】  
(予算責任者)  
第10条 予算管理単位に予算責任者を置き、部局長をもって充てる。

なお、人事権について、「副病院長等の選考に関する申合せ」により、各種メディカルスタッフの選考基準が定められており、病院長が指名することとなっているが、一部、医学部で選考された講座の教授を診療科長とするなど「充て職」が存在するため、医学部と調整を行い、対応を検討する予定である。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
病院長の職務を補佐する者として副病院長を、病院長の職務のうち特定事項の職務を補佐する者として病院長補佐を置いているほか、病院長の諮問に応じ意見を具申する役割として、病院顧問を置いている。また、本院の管理運営に関し、病院長に助言等を行う者として病院長特別補佐を置くことができることとしている。

さらに、病院長の諮問機関として、運営戦略部及び外部有識者（経営戦略アドバイザー）を含む経営戦略部を設置し、多職種からなるメンバーで会議を行い、企画立案を行っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
(人事)

副病院長の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長（各センター長、機構長及び各室長を含む。）、薬剤部長、看護部長及び事務部長のうちから病院長が推薦し学長が選考するもの、病院長補佐の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長（各センター長、機構長及び各室長を含む。）及び薬剤部長のうちから病院長が指名するものとしている。

(研修)

全国病院長会議等が主催する分野別、職階別の各種研修会に執行部職員を積極的に参加させている。また、日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修にも毎年対象者を参加させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の活動を行っている。</p> <p>(1) 医療安全管理に関する責任者、医薬品安全管理に関する責任者、医療機器安全管理に関する責任者、安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 上記に掲げる事項について、その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>病院ホームページにて公表。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院 医療安全管理部 部長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・無	1
川添 志	山下・川添総合 法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・無	1

			る者		
飯田 由紀 子			医療を受ける者 その他の医療従 事者以外の者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

<p>管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体制の整備状況及び活動内容 <p>学外の弁護士に病院顧問を委嘱し、必要に応じて、本院運営に係る法的な助言を得ている。また、病院運営会議（原則毎週開催）に学長指名の副学長及び学外者（弁護士）が構成員として出席している。さらに、役員会や経営協議会（外部委員を含む）において、病院の決算状況等の審議がなされており、毎年監事監査を受審している。</p> </li> <li>・ 専門部署の設置の有無（有 <input checked="" type="radio"/> 無）</li> <li>・ 内部規程の整備の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</li> <li>・ 内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</li> <li>・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。</li> </ul>
---

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>役員会及び経営協議会で病院決算状況等について審議を行っていること、病院運営会議（原則毎週開催）に学長指名の副学長が構成員として出席していること、並びに、毎年、監事監査を受審していることから、業務の監督体制は整備されている。</p> </li> <li>・ 会議体の実施状況 （令和3年度）：役員会年13回、経営協議会 年7回（うち書面会議1回）、 病院運営会議 年25回</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/> 有・無） （令和3年度）：経営協議会 年7回（うち書面会議1回）、病院運営会議 年25回</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有 <input checked="" type="radio"/> 無） （令和3年度）：役員会</li> </ul>
---



<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。</li> </ul>
--

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

<p>窓口の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 通報件数 (年0件)</li> <li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 周知の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>○院内 HP(イントラネット) に掲載している。</li> <li>○院内講習会にて周知している。</li> </ul> </li> </ul>
---

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>地域や患者の医療機関の選択に資するため、病院ホームページで各診療科の特徴や対象とする疾患について、情報発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>○複数診療科の医師及び多職種の医療スタッフを構成員としたチーム（精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、呼吸ケアチーム、外来緩和ケアチーム、糖尿病ケアサポートチーム、透析予防診療チーム、排尿ケアチーム等）を設置し、チーム医療を実践している。</p> <p>○口腔管理センターを設置し、術後の周術期口腔ケアだけでなく、保存・補綴も含め、必要な歯科治療全てを扱い、医科歯科連携医療を推進している。</p>	